京城日報

本紙定價　廣告料金　發行兼編輯人 奥田直之介　印刷人 小川ヨ　發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

十月十八日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇獨逸形勢險惡

所在に擾亂惹起せんとし社會黨は退位要求同盟分離運動は刻々重大となる

倫敦來電＝米國大統領ウイルソン氏は其對獨回答に於て獨逸に於ける獨裁政府の破棄を要求したるが其後獨逸國内に於ける各種の兆候に依つて判ずるに獨逸國内の形勢は大統領の回答に依りて一層險惡となり所在擾亂を惹起せんとするものの如く獨帝退位説は到る處に於て論究せられ既にミユンヘン市社會黨の如きは皇帝に對して退位の要求を爲すに至れり又墺匈國の中歐同盟分離運動は刻々重大なる形勢を生ぜんとするものの如し（東京特電）

△別報

米國政府の拒絶回答に依つて獨逸の國論沸騰は益、險惡に傾き獨立社會黨一派急先鋒となりて獨逸の休戰提議をすべしと豫期せられたるが果して國内の形勢進行せしめんことを希望し其目的を達せんが爲め此際速に皇帝を退位せしめマキシミリアン内閣を破壞して一層民衆的新政府を作り以て講和を促進すべしとの輿論頗る優勢にして是が爲め目下伯林宮城前に於ては大々的示威運動行はれ而かも其中には戰地より歸來せる多數の軍人も交り居れり又海軍要塞地潜水艇根據地等に於ても同樣示威運動行はれ居れり形勢既に斯の如くなれば獨逸は遂に無條件屈伏を爲し講和の機を早めざれば國内の騷亂に依り收拾すべからざるに至るべしと觀測さる（東京特電）

◇休戰の見込なし

獨逸は陸海軍の保證を要す

公式に聲明されたる處に據れば早急に休戰の見込なし更に時機熟して休戰の申込條件を考慮する時に於ても獨逸は唯に劍を鞘に收むる準備をなすのみならず絶對に敵對行動を再始するの力なしとの陸海軍の保證なくしては眞面目に是を考慮すべからざるなり此基本點は英國及聯合國の意見を代表するものなり（倫敦電報）

◇米國輿論の强硬

中には體刑を主張する者あり

米國の輿論は頗る强硬にして就中西部地方の各新聞は一層猛烈なり前伯林駐劄大使たりしゼラード氏は是等輿論を綜合しつゝあるが中には獨帝及び獨逸の責任者全部を體刑に依り處罰せざれば到底講和談判を開始する能はずとなすものあり（東京特電）

◇通牒戰は打切り

要は完全なる獨逸の降伏に在り

華盛頓來電＝華盛頓にては十四日獨逸に交附したる回答は更に獨逸の完全なる降伏を要求したるのみならず同國の政治組織の破壞を要求し且つ公然獨逸國民に向つて其破壞行爲を實行せんことを慫慂せるもの也と信ぜらる米國の輿論は過去に於て未だ曾て見ざる程驚くべき一致を示しつゝあり全米國民は悉く獨逸の完全なる屈服を爲すに非ざれば滿足し難きを主張し今回獨逸に向つて要求せるものは言葉に非ずして行爲なり從つて通牒戰は是を以て終を告ぐるに至るべし而して獨逸が果して如何なる回答を爲すべきかは伯林に於ける最近の眞相が明白になる迄臆測以外何等の材料なきなり（東京特電）

◇獨逸宰相辭職す

獨逸宰相マックス公は辭職せり（倫敦電報）

◇特權議會に附與

獨帝の權力消衰の證

獨逸政府は從來皇帝の特權たりし宣戰講和の大權を獨逸議會に附與するの案を議會に提出せりとの情報其筋に達せり（東京特電）

◇汽船撃沈と獨逸

獨逸及中立諸國の驚愕

十月十三日路透通信員の聞知するところに據れば汽船ラインスター號及び平野丸撃沈事件は獨逸官邊の一部並に中立諸國に於て驚愕を惹起せり獨逸財界の上流人士は今や米大統領ウイルソン氏の條件付講和を鼓吹する事の上に於て海運界の氣運と一致しつゝありて然らざる時は革命内亂は避く可からずと切言しつゝあり（倫敦電報）

◇米佛兩軍の進出

佛軍はベレン、ドムセル、テルメを占領しエーヌ河を渉り米軍はオアーズ河を渉れり（巴里電報）

◇英軍の追撃猛烈

某所著電＝十月六日敵はドウヰナ河岸セフトリンスキー附近の協商軍陣地を攻撃し撃退さる又アルハングル、ウロオダグ鐵道とドウヰナ河の中間なるセレツコエ地方に於ける敵は退却し英軍は目下猛烈に追撃中なり（東京特電）

◇英軍損害七十萬

本年一月より九月迄に

本年一月一日より九月三十日に至る九箇月間に英軍の被れる損害は死傷者及び俘虜を合せ七十萬人を算すと（倫敦電報）

◇クルトレー攻撃

英佛白聯合軍はクールトレーに對し攻撃を開始せり（倫敦電報）

◇驅逐艦建造を急ぐ

ダニエル氏は各造船所に對し驅逐艦の建造を速かならむ事を乞へり（華盛頓電報）

◇佛芬蘭外交斷絶

巴里來電＝公報に曰く佛國は芬蘭と外交關係を斷絶せりと其理由は芬蘭議會が不法にもヘツセ親王を國王に選擧したるにあり（倫敦電報）

◇トロツキ首相説

トロツキーは勞農政府の首相に任ぜられたりと傳へらる（哈爾賓電報）

◇歐露近く大動員

歐露は近く大動員を行はん（哈爾賓電報）

◇廣東軍政府宣言

某所著電＝廣東軍政府は十月十日附を以て左の宣言を發せり（東京特電）

約法の効力を回復し國會解散の命令を取消し以て眞正の共和を求め根本の解決を爲す可き事は從來屢々宣言し且又最近非法議國會に於て總統を選擧せんとするに及び何人を選擧するも之を承認せざる事を聲明し又愈、選擧せらるゝに及び徐世昌氏に對し約法を遵守す可きを勸告したり然るに聽く所に據れば徐氏既に總統の職に就きたる由なるが果して事實なりとせば之れ僞憲を敢てしたるものに異ならず本軍政府は國務院の職權を代表し又法に據りて大總統の職務を執行し又護法繼續固より責を他人に嫁せず

◇副總統選擧延期

副總統選擧は出席議員定數に滿たず延期されたり（北京特電）

◇南北聯立内閣計畫

徐世昌氏は南北聯立内閣組織の計畫ありと（北京特電）

◇金券條令に抗議

北京駐劄英、佛、露、米各國公使は十七日金券條令に關し抗議せり日本公使は東京政府に照會せざる可からずとの理由にて右行動に加はらず（北京特電）

◇日本人を信頼す

日本の西伯利出兵に對し最初西伯利人は疑惑を抱き居りしが近來頗る日本人を信頼するに至れり（浦鹽電報）

◇派遣軍冬籠準備

西伯利派遣軍の冬籠準備は守備隊及び特派隊の外は露國兵營内に駐屯の事と決定し本月中には該準備完了す可し（浦鹽電報）

◇領事館增設經費

來るべき平和戰の準備

外務省にては來るべき平和戰の準備として八年度豫算に領事館三十三箇所增設の經費を計上したるが其内容は未だ明かならざるも此處に最も恐るべきは現戰爭の慘禍よりも列强間に介在して如何なる講和を結ぶべきや更に講和後に於て世界に起るべき激烈なる經濟戰に對し如何にして是に處し又如何にして我國運の伸張を計るべきかと云ふ問題なり此點に關しては原首相始め當局者の苦心一方ならざるものあるは勿論朝野有識者齊しく憂慮しつゝあり即ち此時に當り外務省は先づ領事館を增設し講和戰及び講和後の世界經濟戰の一助たらしめんとするものなり增設地は主として支那南洋西伯利方面にして歐米にも若干の增設を見るべしと（東京特電）

京城神社大祭に總督の參拜

◇回答到着

十月八日附及び十二日附獨逸の講和提議に對する米國大統領の回答外務省に到着せり（東京特電）

◇外調存續

廿二日頃開會

原内閣成立と共に外交調査委員會廢止を唱ふる者ありしが首相は戰爭終熄期に近付き外交は重大時期に入ると同時に調査會の必要を認め是を存續するに決し委員の任命ありたるが二十二日頃調査會を開き其後の對支對歐米外交諸問題に關し報告すべしと（東京特電）

◇外調委員

十六日左の通り外交調査會委員の任命ありたり（東京特電報延着）

外務大臣　内田康哉
陸軍大臣　田中義一

臨時外交調査會委員被仰付

陸軍大將元帥伯爵　寺内正毅

特に國務大臣の禮遇を賜ふ

男爵　後藤新平

臨時外交調査委員會幹事長被仰付

外務大臣　内田康哉

内閣書記官長　高橋光威

臨時外交調査委員會幹事被仰付

陸軍次官　山梨半造
伯爵　兒玉秀雄
第五師團長　山田隆一

臨時外交調査委員會幹事被免

◇米株亂調

紐育來電＝ウオール街の株式市場は講和日先定まらざる爲め亂調子なり（東京特電）

◇新内閣と植民地

古賀拓殖局長談＝予は拓殖方面に何等經驗無きを以て出來得可くんば議會前に臺灣朝鮮を視察し植民政策の參考に資せん考へなり世間或は新内閣の成立と同時に植民地長官の更迭ある可しと傳ふる者あれど目下斯かる事は問題に成り居らずと語れり（東京特電）

◇諸物價下向

鐵は一割乃至二割

講和の聲と共に諸物價は大小の差こそあれ一齊に其影響を受けて漸次下向の傾向を呈し來れるが就中時局に密接なる關係を有する鐵に至りては約一割乃至二割の下落を示せり即ち銑鐵一噸五百三十圓のもの瞬く間に四百七十圓に下落し鋼鐵も十貫棒均十六圓より十三圓に滲物二十五圓より二十三圓に下落せり而してウイルソン大統領の强硬回答に依りて鋼鐵は一寸方引返したるも愈、講和の事實となるに於ては更に一段の低落を免れざる形勢なり（東京特電）

○總督視察

長谷川總督は十九日京城出發自動車にて齋藤大島兩副官藤波通譯官及び村田囑務課長を從へ往復三日間の豫定にて忠州及び尙州に赴き同地方の保留金山試掘狀況を視察すべし

◎輪移入品荷造

包裝改良問題

京城商業會議所にては過般全鮮商業會議所聯合會を開催し諸般商工業の改良發達に資すべき案件に關し審議する所ありたるが其の決議に基づき輪移出入品の輸送中拔荷の弊害頻出する現狀を遺憾とし之れが包裝改良に關し各關係方面及び輪移出入當業者間に

▲之れが周知方

ご注意及び實行を促さんが爲め當地商業會議所副會頭釘本藤次郎氏の名を以て大阪商業會議所、大阪滿鮮貿易商同業組合、神戸、名古屋、下關、東京、北海道、小樽、函館、札幌等の各商業會議所に對し夫々盡力方を交渉する所ありたるが之によれば近時商業貿易の隆昌に伴ひ貨物の遠距離輸送を要するもの益、多きを加ふるに當り其の荷造方法一般に不完全にして特に移入貨物の如き此の弊害最も甚だしく彼の拔荷と稱するものも其の原因の一半は荷造りの不完全に起因するものと思惟せざるべからず思ふに拔荷の頻發今日の如く甚だしきは我國商業界の恥辱にして商取引の不安を釀し商人の信用を傷くること又言を俟たず今や

▲時運一轉して

日露日支貿易の進展を企圖すべき最好時期に際し包裝の改良は極めて急務なりと認めらるゝに就き今回我京城に開催したる朝鮮商業會議所聯合會に於て各商業者各位に荷造りの完全を希望することを決議したる譯なり即ち貴地に於ても輸移出の荷造り改良に關し之れが實行を期する爲め關係各方面に通知して以て本旨の徹底に盡力あらんことを切望すと言ふに在りたり

◎楓葉染料無税

有効明瞭と需要增加

朝鮮産シンナム（楓の一種）葉が染料として有効なる事は中央試驗所に於ける試驗に依り之を認められたる處にして以來漸く其の需要を增加しつゝあり近來更に之を越幾斯として内地に移出する者あるに至りしが内地税關に於ては之を染料として從價一割五分の移入税を賦課し折角の新發見も之が爲め頗る不利の狀態にありしが其の後分析の結果其の主成分の單寧越幾斯なること明瞭となれるを以て今後無税となす事に決定したり

◎船路標識規則

朝鮮航路標識規則は十九日府令を以て發布さるべきが同規則の全文十條より成り十一月一日より施行の由

◎水産組合長選擧

朝鮮水産組合長は組合總代會の結果五名の詮衡委員に於て全羅南道技師林駒生氏を選擧し前組合長大原庄太郎氏には慰勞金として金一千二百圓を贈ることに決議せり

▲神野忠武府監獄課事務官　監獄巡閲の爲咸興元山清津へ出張中十六日歸任
▲岩城信太郎氏（總督府技師）十八日附三日間の豫定にて仁川出張を命ぜらる
▲池田宗次郎氏（同）十八日附十日間の豫定にて全北全州、井邑高敞扶安へ測量事業踏査の爲め出張を命ぜらる
▲本田存氏（外國語學校教授）十八日朝退京
▲川瀬勇太郎氏（林學博士）十七日夜入京巴城館へ
▲淸水鎌氏（農大助手）同上
▲加一雄氏　十七日朝釜山上陸午前十時三十分發北行
▲ハリス博士　同上

茶前酒後

◆聯合軍は獨逸の軍隊が、今尙ほ固執せる、非人道的行動を續くる限り、休戰を承諾するに同意せざるべし、とウイルソン君は、重ねて、獨逸に答へたり。此一言は將に以て、獨逸に徹底的の、打擊を與へたるものにて、最早獨逸の運命は無條件屈伏の二字に待つべきより、他に策なけん。

◆世界を征服せんとせし獨帝は、却つて其野心より、自らを失はんとす。獨逸のミリタリズムも、遂に根柢より破壞されんとす。而して獨逸のミリタリズムの末路は、即ち普魯西の覇權消滅を、事實に於て證明せしものにて、彼が占領地域撤兵の如きは、實に獨逸の悲鳴なりし也。然れども獨逸が、眞に其鬼面を脫して、哀を乞ふに非ずんば、能はざる也。

◆徐大總統は、南北の統一は、國本第一の要義にして、全國民生の意なりと、聲明せり。由來支那の地、北方は險阻多くして、其山水豪壯也。南方は其山水、溫藉にして明媚也。北方の人は性遒勁也。南方の人は優雅也。之を打つて一丸となす、徐氏の成算果して如何。

◆アレキシーフ死す、彼は露國軍界の花形にて、曾て東部戰線に於ける、總參謀長として、露國人には、一種の信仰を以て、迎へられたるの士也。彼齡未だ五十餘歲、露國の爲には惜むべきの人也。

◆獨帝の退位は大分世界を騷がせしが、其事實如何は、未だ明瞭を缺けり。彼は既に十三回病氣重體を報ぜられ、十一回死報さへ傳へられたり。茲に於て退位說も、未だ二三回の報道あるに非ずんば、却々以て信じ難し。

◇金剛山より

大町桂月

金剛山見物中の拙吟の一部供御一笑候

金剛最高の毘盧峰に上りて

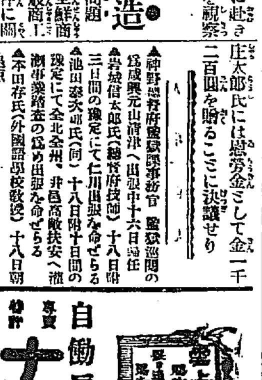
金剛山上奥雲遊、松碧楓紅天地秋、萬朶芙蓉節底落、三千世界掌中收。

金剛山中には縞栗鼠多く候

縞栗鼠と共に飲みたる清水哉

普賢洞より溫井里への路には野生の野菊多く候

野にさける黄菊のかをり身にしみて一萬二千の峰見ゆる哉



自働扇風機裝置　專賣特許　登錄商標
ナショナル精米麥機
成績斯界第一　信用　賣行
本機は曩きに陸軍御用の光榮に浴し最近には東京府立農林學校の實地精米法教授用に採用せられ大て久留米市開催於全國發明品博覽會最高賞金牌を授與せらる
明治神宮御供米精白御用
御即位式獻田米精白御用
於各博覽會最高牌受領
（說明書進呈）
發賣元　東京淺草區諏訪町二〇　精工商店
特約電話下谷二一七一七番　振替東京一二六六八番

愈一億圓
千代田生命保險相互會社
九月中の成績は左の通りにして愈契約高一億圓に達せり創立僅に十四年半にして斯る長足の進歩をなせる者他に比類ありや如何

月始現在契約高	九八、二三五、二四七
新契約及其他の增加	一、九六七、八〇〇
消滅契約及其他の減少	一九三、二八〇
月末現在契約高	一〇〇、〇〇九、七四五圓

金は金を生む
東京株式現物賣買利殖團
一矢十箭の教へは毛利元就ならずとも誰でも解つてゐる大教訓である [illegible]
投資金一口金貳百圓宛但一人にて數口の申込不妨
東京市日本橋區小網町三丁目十番地（武藏屋株式店）
東京株式現物賣買利殖團
電話（特長）浪花五四五六、長四八六六
振替貯金口座東京四二五五七

△冬になつて一番痛切に御感じになるのは寒い事と燃料の高價なる事だと思ひます！
△此二つのものは『ペーチカ』を設備なさると事に依つて大に輕減せらるゝのであります！
△『ペーチカ』の設備は愈押詰つてからでは間に合ひません、今の内の御計畫が大切であります！
說明書御申越有次第贈呈
ペーチカ築設專門　京城府漢江通八番地
宮崎組
電話龍山五四一番　振替口座京城五四〇九番

模造品續出乞御注意
オキシパサー
本器は科學界の泰斗マイケル、ファラデー氏の發見唱導に係りダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素を利用に依る治療器にして使用後直に感應疾病の根元を絶滅すべき偉力を有す實に物理療法中の權威たり特効用多年の難病者に薦む
効力永久にして器械代以外藥品等の費用を要せず使用簡便にして何等の危險なく婦人子供も容易に使用することを得脚氣リウマチス神經痛腎臟病神經衰弱肺炎肋膜炎生殖器病婦人諸病等の急性慢性病に偉大なる効力あり實驗者の治療報告書は申込次第無料贈呈す
定價金參拾九圓
東京市京橋區有樂町一ノ三　大日本オキシパサー商會　電話本局二六九七　振替東京三二八二一
特約店　京城本町二ノ七一　酒本高明商店

時間表

大正七年七月一日改正現行

[illegible]

○麗かな小春の空
神々しき轍の音に
＝漢城の秋動搖めく
▽…京城神社大祭二日の賑ひ
…全市歡樂の巷と化す!!!

▼神鼓響
嫋々として

◇長谷川總督の參拜◇
京城神社大祭は十七日午前八時より執行せられたり齋主谷村宮司、副齋主西田社掌、礒野、井上、船岡、岡田、堀各齋員、峰尾委員長、委員副長、各委員數十名、神崎伶人長以下伶人五名祭場に參列し修祓の後莊嚴なる神樂を奏し谷村齋主御扉を開き奉り謹んで敬禮をなし齋員は神饌、幣帛を獻じ夫より谷村齋主神前に前みて祝詞を奏し玉串を捧げ次いで長谷川總督、峰尾武官、兒島總長、鹽澤庶務部長、李完用伯、金谷府尹、各學校生徒職員其他官民以下參列員玉串を捧げて神前に禮拜す此の間劉喨たる奏樂あり夫より神體を御輦に移し奉れるが時に午前九時半なりし午前十時[illegible]三聲にして鳳輦は嚴かに渡幸したり

◇秋祭の賑ひ（左上）總督官邸前の神輿（左下）仕丁姿の三券番藝妓（右）行列の壯觀

▼鳳輦渡御
錦旗燦として
旻天に輝く!!!

▽行列嚴かに 午前十時鳳輦御渡幸の準備成るや三發の煙花南山の山顚高く響き神鼓の響、螺貝の聲、鳳輦の輝き、錦旗の閃き、獻燈踊り、彩纓緩やかに翻り、小春の

▽暖光を浴び 滿造の空氣を搖ぶしつゝ蜿蜒數丁に亘る神幸行列は倭城臺の坂を下り初めた二頭の獅子を先頭にして螺貝、太鼓、纛旗たる御神號旗、鈴旗、旗、鉾、楯、弓、矢、御神劍、御太刀、荷太鼓、荷鉦鼓の後より伶人の奏する淸曉なる

▽雅樂響き 十名の騎武者、一騎の騎武者過ぎ五色の眞榊を前に四神旗を前後左右に美々しく裝はれたる御牽牛二頭の後より燦爛たる御鳳輦いと靜かに練り行く神馬、唐櫃を前に衣冠（紅袍）の

▽乘馬帶劍 の齋主、副齋主、齋員續き、衣冠の委員總長は馬車を驅り、神社相談役神職並に各宗教導職、各町洞提灯町名旗、祭典委員等後に從ふ

▼盆と正月を一緒に
迎へたやうな市中
賑やかな囃子、山車がゾロ〳〵
到る處恐ろしい程の人出!!!

斯くて神幸嚴々として進む後から山車其他の飾物一般參詣者の列になるとイヤハヤ賑やかなこと夥しいこと

▽素晴しい 勢ひである第一區の造り物の大虎と御旅所內が掛けの大きいことで先づ見物人を威嚇す囃子賑やかな幾臺かの山車が通る。陽氣な仕丁姿の京新中三券番の紅裾連が過ぐる。淺紅色の

▽パラソル を翳した京城券番の妓生や襷を掛けた京都券番の妓生連が通る、武士が通る、朝鮮樂が行く、曰く何、曰く何と途切に途がない市中は到る處恐ろしい程の人出であつたが殊に行列は町の方に出つて本町通りを

▽龍山の方 に向つて行くので本町筋の混雜と來たら全く言語に絶する程であつた

▼夜の賑
宛の百鬼夜行
深更まで沸く

十七日夕景からの人出は甚に倍し本町筋の如きは身動きもならぬ雜沓であつた。各町の造り物が一齊に蓋を開け、突飛な假裝をした連中が縱横となく練り歩き、屋臺を引き廻すと云ふ騷ぎで深更迄全市沸き返るやうな景氣であつた。斯うした賑ひは空前のことだらうであるが警察側の警戒もよく行き屆いて唯五六名の迷ひ兒があつたばかりで他には一つも事故を生じなかつたさうである。

▼御旅所へ
神輿御到着

十七日午後零時過ぎ南大門驛前發幸古市町岡崎町を經て三角公園に到り小憩の後黃金町通南山下の管理局前を經て五時頃文化山下の御旅所に著せられたり斯くて夜は非常なる賑ひを呈し桃山に相撲、二輪加等の餘興場を設け夜に入りては舞妓連の出囃ありて雜鬧を極めたり

▼旗と提灯と
山車と人
本社前に御駐輦
目出たく還御

十八日は未明に風颶しく雨さへ降り出せしも午前八時頃より晴天となり午前九時御旅所發幸、櫻井町四丁目橋通町を經て吉野町、古市町を經て鍾路町に出で太平町通りより左折して正午

▽本社前に 著せられたる御駐輦所の齋主、委員、總長以下行列供奉員一同は本社來賓閣及び後庭に設けられたる休憩所に於て晝餐を認め午後一時同所發幸の豫定の

▽御道筋に 向けて御發幸ありたるが其間本社前廣場は彩旗と提灯と花車と人とを以て埋まり鉦鼓の響賑々しく御發幸の際は昨日の如く山車、造り物、且

▽各券番の 藝妓連隨從し太平通り一丁目から鍾路通りに出で黃金町四丁目、櫻井町一丁目、若草町、黃金町東拓社前、南大門通り二丁目、明治町から再び黃金町に出で永樂町二丁目から總督官邸前に出で午後五時本社に還御られたり

○珍い御題
爽快な景趣が眼に浮ぶ

大正八年歌御會始御題は『朝晴雪』と仰出されたる事既報の如くなるがこれについて御歌所寄人大口鯛二氏は語る『朝晴雪』と云ふのは誠に爽快な景趣の目に浮ぶ御題で新年歌御會始めには最も適當であると拜察する詠進者も大に

▽詩情 を唆られることであらうが此御題は明治の御代になつてから仰出されたことがないのみならず古今集以後の選集にも見ないのであるから類題集などを涉獵しても作例は見當らぬ尤も『朝雪』『晴雪』など云ふ歌は可なりあるやうであるが併し

▽例作 を眞似て作つては百人千人皆同樣のものとなつて自作の歌にはならぬし斯樣な景趣は誰も既に歌つたことであるから是等の外に何か一つの感興を得ようと考へ

▽自分 が曾て雪の朝に斯る景趣に接し斯る感興を起したとがあるから之を歌にして見ようと努力するとが肝要であらうと思ふ（東京）

◇詠進書式
△一人一首を
本年末迄に

勅題詠進書式並に期限等左の如し
○詠進は一人一首とし大正七年十二月卅一日迄に宮內省御歌所に差出すべし
○料紙は小奉書杉原紙又は美濃紙とす

名 七	朝晴雪	五七五	七七	

堅詠 五つ折

◇裏面書式
現住所　族籍　氏名
官爵位勳功等を有する者は氏名の上に記載すべし

○赤星家寄附の
百萬圓
是を基金として化學研究所設立か!!!

昨年秋前後三回の入札にて五百餘萬圓と云ふ賣上高のレコードを示したる赤星鐵馬氏は該賣上金中より百萬圓を割きて是を公共事業に提供することに決し其適當の方法を研究中であつたが諸種の事情を被れる樺山伯等に計り其使途に就き研究中で爾來一箇年を經たる此程に至りて漸く確定を見たる由なるが是が協議に與りし樺山伯の外牧野伸顯男、中山成信氏等にして百萬圓を基金とする財團を組織し文明の進步に貢獻すべく最も必要ある化學研究所か或は發明獎勵等に對する援助機關たらしむるものなるべく該財團を啓明會と稱し兩三月中に正式成立の運びとなるべしと（東京特電）

○大邱へ來る
飛行機
伊藤氏操縱す
共進會第一の呼物

來る三十一日より開催の慶北第二回共進會第一の呼物として前人氣立しきは飛行機なるが有志者は我國民間飛行界の泰斗伊藤音次郎氏にして飛行機は『鶴羽號』と稱するもの、由一行の先發隊たる支配人阿部廣造氏廿三日頃大邱着直ちに諸般の準備に着手する筈なるが飛行場は愈々大邱驛附練兵場と決定し場內には高さ十一尺間口四十尺奧行廿五尺の格納庫を建設することなり是又阿部支配人著後直ちに工事に着手する由（大邱）

○廣業畫伯辭任 寺崎廣業畫伯は病氣の爲め文展審査員及び美術學校教授を辭任せり

○李王世子殿下の
御婚儀は來秋か
宮相の辭職說は問題でない
御婚儀延期は宮家の御都合

李王世子垠殿下と梨本宮方子女王殿下との御婚儀に就いては、屢報じた如く、今秋十一月に行はせられる筈であつたが『王公家軌範』制定が未了の爲めとやらで、來春或は來秋に

▽延期され る樣であるが右に就き宮內省某大官の話に依れば『朝鮮に關係深い寺內內閣時代に兩家の御婚禮を行ひたいと急いで居た、會々王公家軌範を同時に制定して、樞密院に提出され審議が了へない內に、內閣が交迭した爲め、軌範は一時

▽新內閣へ 見送された のである。之が爲め世間では宮內大臣の引責辭職說を唱へるけれども、百三十一ヶ條の軌範の中には李王家の婚禮の事は一つも書いてなく、只李王家の婚禮に就いては宮內大臣之を別に定むと云ふ樣な一ヶ條がある丈けだから軌範の廻附されたのを撤返し世間が勝手に

▽早合點を したに過ぎない、だから宮相の辭職說等は意味をなさぬのであつて、之が爲め結婚の事が見合せになる樣な事もない、李王家でも妃殿下を迎へる爲めに麻布鳥居坂の邸內奧に、妃殿下用として二階建を建築して本年六月既に竣成した、又梨本宮家でも

▽方子女王 殿下の婚禮御衣裳一式を麴町の高田宮內省御用裝束師に御注文になつたり高島屋、白木屋等にも夫々御誂らへがあつたのである、兩家の御婚儀は王公家軌範に依つて左右されない、御延期に就いては色々

▽御都合も あらう事で、殊に梨本宮家では方子女王殿下が、來年三月學習院御卒業の事であるから、御婚禮は來年の方が好都合であつて、延期事情は寧ろこの方が有力である』（東京）

○電話九十の
新開通
四軒毎に一つの割合
餘程有難がられた

十六日本年度增設の電話九十程の開通を見た、これで京城郵便局所管の電話は總數三千三百二十になつた、京城府の內地人の戶數を約一萬三千（龍山を除いて）とすると

◈四軒毎に 一個宛の電話を有つて居る事となる、（中朝鮮人の電話は四百ばかり）この位の都會としては隨分よく行き渡つて居る方だ、今回の架設が決定する前までは市中の電話の値段は平均二百五十圓もして居たと云ふ固より內地の相場には及ばぬが可なり

◈好い値段 であつたと言はねばならぬ、ところが今度愈々新規開通が決定し郵便局から加入者に對しこの旨通知を發したと云ふ市中の相場は忽ち五十圓程低落したさうだ、開通の通知を受けた加入者の約三分の一は開通前既に他に讓り渡して居た爲め郵便局では架設上なかく

◈手數を要 したが幸ひにして何等の事故もなく圓滑に開通を濟ます事が出來た、殊に夫が恰は非常に喜んで居るやうだが、又中には過般代表的番號設定の爲め不用になつた若い好い番號を割當てられて大いに悅び

◈態々禮を 言つて來る者も尠くない、郵便局が電話で有難がられたのは先づこの位のものである（京城郵便局長談）

○安東の初雪 十七日夜俄に暴風起り少量の降雨あり十八日朝來天候回復せしも氣溫急にドン降し結氷を觀たり是は本年の初氷なり（安東特電）

演藝
▼ジャンダーク好評 ▲黃金館は十七日より愈々呼物のジャンダークを上演せるが該寫は『暗黑街』以外の大映畫にして其結構の雄大、技術の精巧さに活動寫眞界の權威たるを失はず映畫の中心人物オルレアンの少女ジャン、ダークが祖國の急を救ふべく自ら陣頭に立ち戰術の神策を用ひて敵軍を惱ますあたりから悲壯なる最後に至る迄愛國の血潮を以て彩られて居る、殊に辯士の說明にかけては天下一品の稱ある西村樂天君の獨演は更に一層の精彩を加へる、兎に角喝采すべき寫眞であつて十九日迄の掛續中人氣を呼ぶと疑ひない
▲大正館 十八日より映畫全部差換へ[illegible]『アンブローズの[illegible]』滑稽活劇『[illegible]』全二卷探偵活劇『魔眼』全五卷外に『海野兄弟』全四卷等を提供す
▲有樂館 十八日より映畫全部差換

仁川米
十八日後場[illegible]十一月限二十四圓六十四錢乃至二十七圓八十錢[illegible]安に寄付たるも忽ち七十錢込まれ二節迄に六十九錢[illegible]七十錢に戾し三節再[illegible]

六錢四	錢三	錢一	錢二	錢三	錢六	錢四	錢五
[illegible]							

仁川米豆取引
十八日の十一月限
寄付　二十七圓八十錢
後場[illegible]　二十七圓六十錢
[illegible]　二十七圓五十八錢

○連絡船上陸客
十六日午前入港高麗丸上陸一二等客
一等十名 篠崎哲四郎、同幸子、小林陽之助、爾村延一、山根正次、坂本金彌、坂本馨四郎、武藏規作[illegible]
山本勘一、彌永公一、小林正雄、佐々木卯一郎、前田助太郎、河合勝一、小林秀一、田代廣市、佐[illegible]末吉、北岡きと、同じみ、上村靖夫、多田原作、同村重治、長澤英二、景山義郎、松井武、林炳善、石川せう子、島田時[illegible]、山田嘉四郎、古賀保、向ふき、馬場友三郎、相木房太郎[illegible]
一等（十五名）前田林[illegible]、岡田鐵二、上野賢、劉駒賢、韓鈔堂、木下茂、井出繁太郎外八五名
二等二十八名 森島きし子、山下いち子、有川長、小北德三郎、江森寅、同しげの、同[illegible]、久保敏男、小林[illegible]、[illegible]
十七日午前入港新羅丸一二等客
一等（十一名）島飼道予、同政智、前田新太郎、松本武康、北村武義、富松健次、[illegible]川瀬善太郎、庄野嘉久藏、外人二名
二等（五十九名）[illegible]
創伊三、東野ひで、阿民雄、[illegible]元宜、同じう、王贇文、森田菊、岩元定一、河みつ、[illegible]、田村[illegible]加平、同芳枝、同靜枝、尾崎[illegible]、中原大蔵、同はま、土川[illegible]七藏、倉田[illegible]三郎、同けい[illegible]
二等（九名）[illegible]、原山六助、毛竹[illegible]、[illegible]、[illegible]、宮本重郎、太田秀子、佐藤[illegible]、[illegible]金井[illegible]、[illegible]、同恒子、同亮子、外人一名、三等（百三十九名）

天氣
晴
▲十九日[illegible]

次回小說豫告
本紙朝刊四面連載の小說「妻の心」も近く喝采裡に大團圓を告ぐべければ次回には引續き

母と子
北島春石作
森田久畫

と題する新作を連載すべし作者は事實に於て生さぬ仲の執筆者なり其の靈腕は江湖愛讀者諸君が既に悉知する處本篇亦作者得意の作にて人情の微を穿ち細に入る處恐らく作者の手腕を遺憾なく發揮せし傑作也特に作者が本社の依賴に應じ長時を費して執筆せるもの必ず讀者の期待に反せざるは本社の保證する處也乞ふ揭載の日を待たれよ

畑一段歩 千圓もあがる
藥草栽培
◇庭の片隅からでも
◇大金が儲かる
目下日本政府が獎勵金を下附して盛んに獎勵してゐる各種藥草の栽培は地方郡村の福音である。藥草栽培は骨が折れずに樂みが多く然も多大の收入あり中には畑一反歩から一收穫に千圓近くの收金を上げてゐるものもあるそれだから一坪の土地でも利用すればよき副業內職となる。殊に人に先んじて之を栽培し種苗を取て賣れば大金が儲かる。又野原に繁茂せる野外藥草でも之を採取して販賣すれば無資本で一ヶ月五十圓內外の利益を得る事も出來る。其の栽培法、採取法、販賣法等は東京神田表神保町日本藥草研究會發行の講義録を見るが一番よい同會の會員には質問隨意、藥草共同販賣等の特典もある會則及講義録見本は同會宛ハガキにて申込次第進呈する（至急を要す）

資本僅かに
五拾圓で呉服屋
確實、有利、御婦人でも老人でも獨立する青年諸君にも一町一村に一名限り
全國特約店募集
資用織物特約店規定至急郵券三錢送れ
東京九段 ◎申込多數至急要
久保濱織物チエンストアー
地方御部

軍隊毛布
として更に遜色なき防寒毛布西比利亞の或る方面に送るべき約定品なりしが今回時局の變遷に依り中止となり不得止賣毛の價なる大判一枚箱き一組（茶鼠色新製品）三圓四十五錢にて一般に賣出す家庭にも旅行にも最必要の品なり希望者は至急ハガキにて申込あれ受付順に代金引換小包で發送す數に限あり賣切れ後は送付せず
神田 株式會社東京織物仲繼店

サント萬年筆
字探し懸賞募集
此の廣告中に萬の字幾字あるか
問題	賞	解答及選	主趣方法
此の廣告中に萬の字幾字あるか	正解者中抽籤當選者一人一本限り特價金壹圓參拾錢の金ペン二枚ペラ、クリツプスポイト附サント萬年筆五百本を提供す	解答はハガキに限る宛名大阪市本町中野町サント萬年筆製作所へ十月二十日限各新聞紙上に選別に當選者に通知す	光發なる御賞上を記念に我サント萬年筆を如何に使用に便なるかを未だ御使用なき諸君に試驗的一本を提供し御使用を願ひ多くの御法を變更し正解者に十三枚の郵券を附して送る事とす

大口通（大）田村質店 電話二九一六番
黃金町長橋附入口
商品擔保便利取扱

寫眞入改正定價表御一報次第送呈
冬帽子 全部荷揃
打以下一種類半御註文御申上候
大阪市平野町四 內外帽子卸問屋
淺野長商店
電話本局（長三六二〇）振替大阪一二一五三

弘民 文學博士河合
儀病氣の處療養不相叶去十二日死去候に付此段謹告候也
十月十三日
東京市小石川區小日向臺町一の四七
男 河合俊民

新古 ストーブ
煙突 其他附屬品一式
右割安品多數持合候間多少に不拘御用命願上候
京城北米倉町百番地
古鐵問屋 有好商店
電話一五四六番

大天幕 雨覆 日覆 テント
製造販賣 賃貸仕候
大日本阪西長堀北通
吉井町 電話西長二五一〇 一番三六五番
矢野テント商會

債權請求申出催告
白石土地株式會社ハ大正七年九月二十七日解散シ目下淸算中ニ付キ社ニ對シ債權ヲ有セラルヽ各位ハ大正七年十二月七日迄ニ淸算人ニ對シ其請求ヲ御申出被成度若シ右期間內ニ御申出無之節ハ其債權ハ淸算ヨリ除斥セラルヘク候
右商法第貳百參拾四條民法第七拾九條ニ依リ公告候也
大正七年拾月五日
朝鮮忠淸南道天安郡成歡面成歡里
白石土地株式會社
淸算事務所
白石土地株式會社淸算人 大串平八
同 岩永喜一郎
同 草場又
同 鶴田勇

成川誌（一）

史蹟に富める地

三郡品評會を開かるべき平壤元山間の要路に當れる平南成川の事情を同郡廳の報告により摘録すれば左の如し

名産は煙草と紬

成川郡は目下内地人戸數九十二戸二百二十人を有するのみなるが此地は有名なる蕒の産地にして其産額一年七萬一千貫を産し東亞貿易會社は此の地の有望なることを認め蕒の小作に從事せしめつゝあり其の他成川紬も有望なる産物なるが紬は明紬と生紬の二種あり明紬を練絹にして生紬は生絹とす古來成川紬は都鄙に膾炙する處其の産額は一箇年に明紬千十五疋生紬千六百三十三疋なるも其の製法は舊式に屬し徒らに勞力を要するを以て之が改良に奬勵し今や其の原料たる製絲に改良を加へ同時に器具の改善を促しつゝあれば漸次當業者の覺醒を見るに至らんと

人口戸數及職業別

人口は内地人の外朝鮮人一萬三千八百五十九戸（七萬五千四百四十七人）外人五戸（十六人）にして内地人の職業は官公吏教員其他の外工業二十二、商業交通業二十七にして外人は農林牧畜業三商業及び交通業二にして鮮人の多くは農民也

平元道路の要部

本郡は平元道路の要部に位し平壤を距ること十六里元山を距ること三十六里陽德を距ること十九里にして其の間東西の交通自由なり西は江東郡、順川郡北は順川郡、孟山郡に連り東は陽德郡及び黄海道谷山郡に隣り南は江東及び黄海道遂安に接せり地勢は郡中至る所山又山にして耕地其の間に介在して耕地は全面積の五分の一に過ぎず沸流江及び其の支流山谷の間を曲流迂回し溜漑の便極めて尠く水田僅かに百三十町歩にして砂礫多き畑地と傾斜過度の火田其の過半を占む

高勾麗の舊王都

高勾麗の始祖東明王北扶餘より起り今の滿洲なる卒本川松讓を降し其の王を封じて多勿侯とし松讓（現今の邑内附近一帶の地）に都す（帝國崇神帝の朝漢元帝建昭二年）其子瑠璃王に至り平壤（現今の大同郡林原面）に移る高麗太祖十四

★平南成川の三郡聯合品評會

平南、成川、江東、陽德三郡の聯合生産品評會は來る十一月四日より同八日迄五日間成川公立普通學校に於て開催の筈にて期日中は毎日市場を開設し餘興としては妓生演戯、獅子舞、虎舞、踊舞、活動寫眞、音樂隊其他各種の朝鮮八少居等を催し晝夜間斷なく煙火を打上げ殷氣を添ゆる計畫なれば成川邑内空前の盛況を呈すべしと

◎滿蒙の農業

◇指導改善すべき方法◇

穀物の不足は忽ち其の相場を暴騰せしめ一般困窮に苦しめられたる結果農業擴張の急務を説くもの多きに至り已に滿蒙の農業等に對しても之が發展を企畫するもの頻出し一部人士間には

滿洲農業移民政策

を云爲するものあるに至れり然りと雖も支那目下の形勢は商租に關する徹底的諒解なく甚だ商租反對の氣分あり而かも農民を指導すべく當局と雖も頑迷にして商租開墾を速かにする事を厭ひ常に妨害的態度を持し居るを以て未だ俄に農業移民策を再行する事不可能なり且つ日本農民は常に小農に仕立てられたる結果未だ

大陸的大農經營法

其技術及び智識に乏しく漸次改正指導すべき點多し此等に就きては滿鐵及び東拓會社等其の研究調査を怠らず必ず好時機を圖りて移民策等も實現せしむるに至るべし又一方因襲的習慣に捕はれ毫も進展の見込みなき支那農業者に對し

文明的營農法を

指導し福利を增進せしむると共に農事改良を必要視せしむる域に導き漸次滿蒙に於ける營農改善並びに耕地擴大を圖るは甚だ緊要事たるべし（奉天）

◎支那關稅率

近く公表されんとす◆

久しく問題となり居たる支那關稅改正に關しては襲に列國公使會議に於て稅率決定の基礎として物價の標準を千九百十二年より千九百十六年迄の平均價格とする事とし之に依り現貨五分の稅率に改むる事に決定せるが其後上海に於て支那と通商關係を有する十四政府の關係改正委員は引續き會議を開き更に幾多の特別委員會を設け一々重要品目に就き稅關報告其他あらゆる材料を參考とし價格を確再決定中なるが日本の對支貿易重要品目に就きては全部決定せりと雖も他の諸國に關する品目中未決定の分は遲くも十月中には全部決定公表の運びに至るべし（奉天）

◎奉天製麻計畫

滿洲有望事業として已に關東州には同會社の設立を見たる製麻業は北方未だ甚だ振はず只一部人士間の問題となり居りしが聞く所に依れば近頃庇谷忱氏頼りに奔走し目下準備中なり同事業の如きは滿洲奉天に一製麻會社を設立すべく目下一圓何地を論せず有望なる事業なれば奉天の如き交通至便なる地に工場を設置し大々的發展を計るは時機に適合したる計畫と云ふべし奉天事業熱勃興と共に斯く有利なる會社の益々増設せらる〻は奉天將來の爲め甚だ喜ぶべき現象と云ふべし（奉天）

◎荒地を拓きて數萬頃の耕地を

得べき熱河都統の新計劃

穀物の騰貴は一般耕地の擴張を促し蒙古方面の荒蕪も亦漸く世人の注意を惹起さんとする趨勢あり聞く所に依れば熱河都統姜桂題氏は昭烏達盟、巴林右旗一帶荒地頗る多く而も沃土なるを以て移民を獎勵し開墾を行はしめんと欲し目下其辦法を中央政府に電照しつゝあり倘ほ同事業に對しては充分なる經綸を有し切實に辦理し得べき好適の人物を特派し一切を辨理せしめば一年間に於ても肥沃の耕地數萬頃を得べく三年の後に至らば政府は數十萬元の稅金を徴收し得るに至るべし現在直隸山東の流民日に多きの際之を移して荒地を開墾せしめば一擧兩全の計なりと電請しつゝありと（奉天）

◎鳳凰城煙草試作

滿洲に於ける煙草の栽培有望なる事は世人の注意を促し邦人間に於ても其調査を爲しつゝあるもの少からず然りと雖も煙草栽培の如きは營農中に於ても至難なる事業なれば只に調査のみにて其成績の如何を豫測し難き點多ければ滿鐵に於ては此等事業の助長を計るべく已に公主嶺得利寺等に煙草試作場を作り之が試作を爲しつゝありしが安奉線方面に於ても甚だ好適の地尠からざれば今回鳳凰城に同試作場を擴張すべく今夏以來諸準備を爲し已に竣工見、十三日之が落成式を擧行せり因に已に試作したる成績は沿線各試作場に比し最も優良なる成績にして甚だ有望視されつゝありと

郊外の秋

ポプラの並木に秋の色増して何となう物寂しさが感ぜらる・文讀む窓に夕日の影が落つる時遊子の胸に無限の哀韻に喚らる、のである秋の歌を自然の調べに乘つて唱ふもよし黄に赤に塗沫せらる・凋落の宇宙を畫板に納めて獨り自然の大觀を恣まにするも最も好い試みに秋の一日を近郊に杖して

◆心ゆく鄕心を洗はん◆

か郊外の秋は沁々と迫つて路人の袂に黄ばんだ胡藤の下葉が散る垣根に匍へる緑の蔦が早や霜をも待たで紅葉する姿の扱ても可愛らしさよ自然の裝ひは斯くして日一日に濃かに豐穣を謳ふに似たる鳥の音色も黄に赤に彩られ行くかに聞き做さる・秋のリズム更に空低く

◆鳴き渡る雁の一群◆

裂帛の悲鳴を殘して南する時人は秋の痛みを感ぜずにはゐられない

されど悲しいもの・内にも秋には豐な慰めがある物皆凋落の色に最後の榮を現はす時織り成された錦繡の間を縫うて相携へたる散策氣分花の季節よりも更に趣きは深いのである仁川の郊外と云つても遠く離る・を要せぬ寧ろ遠きに遊ぶよりも公園の

◆落葉を踏むで沖の眺◆

に又なき景を賞するの餘程勝れたるものがある各國公園のベンチに腰を下す吾妻家の下に心地よい秋風が吹いて沖の白帆もさも輕げに鏡の海を辷るのが目の前に展開する築港の船渠を掘り下げる浚渫船が大きな機械の音を沛々に響かして絶えず運轉をして居る前には只深碧滿々と湛へた船渠が船を待つかの樣に總ての設備を整へて居るのが秋の日差を受けて

◆一眸の内に眺らかに◆

映ずる屹然として空を摩すジョンストン別莊の甍に夕日が落つる時月尾島の山頂に立つ無線電信の柱をかすめて雁が飛ぶ花の月尾島は春許りの眺めぢやない秋の櫻は四月の花よりも紅に之よりと彌や增す眺めに人を待つ潮合の釣なども來たら月尾の岩でなと出來ない特有の遊び場である更に新花水里に通ずる小丘或ひは桃山の樂る樹木には名もない花が咲き亂れ時として茸の香り床しいのも得らる・のである松茸でも採りたいと思ふなら辨當の用意を整へて砂素から遠く山奥に入らねばならぬ

◆何れにしても人出の◆

日に多くなるのは矢張り手近な附近の公園にアカシヤの葉陰を逍遙する秋の人日曜の如きは秋日の影に辨當を開く一家團欒のまとひもそこ此所認むるのである來る祭日は必ず秋興を訪ねて附近の秋を探るのも面白からう（仁川）

◎今年は寒氣が例年より早し

北鮮地方では早や霜を見る

本年北鮮方面の寒氣は例年より早く襲來し十月初旬よりは袷を着物に重ねる有樣にて國境方面にては既に十月二日頃初氷あり清津地方にては十二日初霜ありたるが例年より著しく早し尚本冬は酷寒なるべしと豫想され居れり（清津）

▽途上より△

公州にて　大童生

……豐作…輕鐵……

記者足下、黄海道の大略の視察を終へたる小生は直ちに鳥致院に走り自動車に搭られて公州を訪れ申候忠清南道廳は當地鳳山の麓にあり旅宿に鞄を開く間もなく到着の其足で直ちに道廳に澁谷一部長を訪ひ申し候鄕南樓內秋深くして靜寂たり邨を通じて應接間に部長と對すれば流石に老熟の色ある主人應對頗る圓滑に遠來往訪の小生爲めにスッカリ忠南の捕虜となれるかの氣分致し申し候忠清南道に於ける仁川の商勢は獨り北部沿岸の各郡に止らず遠く公州郡を襲ひ常によく群山京城或は釜山方面の商勢と戰ひつゝあるは快心の事に存じ候然れ共這回計畫されたる忠南横貫の輕鐵豫定の如く線路敷設を許可せられんか仁川の消長は待つて一つに此の輕鐵に左右せらるべく吾人の主張する豫定線路の變更出願は徹頭徹尾貫徹を期しなければ仁川の爲め嘔に候此の間廳も同部長の應援に依れば先づ幸ひに希望に添ふ處あらんとの意向に聞き及び候當地は別に之ぞと言ふ名所も御座無く候も到つて閑靜に倍も詩境に遊ぶが如く氣持よく一日を過し申候本年は米も大豆も棉作も上々の作柄に之有候山農家喜色面上に溢れたるを見受申候早々

新米

◉慶北星州◉

本年度慶北星州産新穀良好部去る十二日倭館市場に廻著したる由なるが相場は石廿五圓を唱へ昨年に比し十圓の高値の由之れ本道に於ける本年改良種の初廻りなりと（大邱）

張三李四

◆賣淫料百五十餘圓◆

釜山草梁洞明月館抱へ鮮妓鄭蘭玉（二十）は雅富國（二七）を客に取り代價として金時計金指環其他現金計百五十四圓を取し非發覺し告發さる

◆文社を種に詐欺す◆

慶南に東洋興業株式會社なる看板を掲げ鮮人四名を瞞ふと稱し卅圓づゝ保證金を詐取し居候や諸挪を踏倒して夜逃せし曲者あり

◆賊を側らける活辯◆

京城にて活辯をなしゐたる花村光明こと花村民太郎（二二）は平壤にて他人の衣類を窃取し大連に飛びて浪速館に勤めてゐる所を捕へらる

◆繁榮と悪い副産物◆

釜山港は日下人口三萬に近く黄海の一都市となり夫が爲めに不良の徒入込み賭博を常習となす者續出せしより近頃大檢擧中なりといふ

◆仲買人に拐帶さる◆

間島龍井の伊藤洋行にては鮮人仲買人某に二千圓託して大豆を買入に赴かしめたる所右仲買人は其金を拐帶して今以て行方不明なりと

◇大懸賞社告◇

天高く馬肥え燈火將に親むべきの候、吾人の詩嚢亦空しからず、我社は此の好季に際し我十萬愛讀者諸君の爲に詩趣の深きを添へんが爲左の懸賞を以て汎く江湖に雅心構想を募集す奮つて御投稿あらん事を希望す

懸賞金百五拾圓也

投稿締切　十月二十日

投稿者諸君は左の規定及課題に注意せられよ

種目	課題	一等	二等	三等	選者
論文	『宴會改良に就て』（十五字詰二百五十行以内）	十五圓	七圓二人	四圓三人	社內選
漢詩	『秋日』（七言律詩）『四時閑』（七言絶句）	三圓	一圓二人	一圓三人	京都 高野竹園先生選
俳句	『初冬』『しぐれ』	三圓	一圓二人	一圓三人	目池選
川柳	『咳』『記念』	三圓	一圓二人	一圓三人	東京 井上劍花坊選
和歌	『冬の朝』『落葉』	三圓	一圓二人	一圓三人	東京 尾上柴舟先生選
小品文	（隨意）	三圓	一圓二人	一圓三人	社內選
短篇小說	（隨意）（十五字詰二百五十行以内）	十圓	五圓二人	三圓三人	社內選
情歌	『室咲』『小春』	三圓	一圓二人	一圓三人	東京 平松天籟選
一口噺	（隨意）	三圓	一圓二人	一圓三人	社內選
寫眞	『晚秋』	三圓	一圓二人	一圓三人	社內選

以上の作物は一人全部應募は自由なるも漢詩、俳句、和歌、情歌、一口噺は一人各二作以内小品文は一作迄、短篇小說及論文は各人各一作に限り寫眞一人一枚以内とす

應募原稿には表封に必ず懸賞募集原稿と朱書せられたし

發表は十一月上旬時日は追て發表す入選以外のものも佳作は選外佳作として京城日報紙上に掲載す賞金は發表と同時に送附す

京城日報社

現代唯一の腦病藥

……とは島村博士有效證明の……衆口一致

腦病良藥 健腦丸 である

島村博士證明 健腦丸 腦病良藥 KENNOGWAN

主效：腦充血・中風　腦膜炎・卒中　腦貧血・頭痛　神經痛・便秘　健忘・眩暈　耳鳴・逆上

特長：常に少量宛常用せば逆上を引下げ便通をよくし恐る可き腦充血や中風卒中を未發に豫防し頭腦を明晰にし記憶力を增進す。

藥價：半週分四十錢　一週分七十錢　二週分一圓卅錢　三週分一圓八十錢　十週分五圓

全國藥店にあり　本舖 大阪東京 丹平商會

戰劇 ジャンダアク 全十二卷（二萬呎）

◎撮影費二百萬圓 ◎東洋一手權利八十萬圓 ◎出動人員參萬人

滿員御禮

世界一の大活動寫眞と世界一のサクラビール呈供

日本一辯士 西村樂天獨演

特等、壹等に限りサクラビール大瓶一本宛進呈す

愈十九日限り晝夜二回

於 黄金館 電話二三六七番

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）電話 一八番 二六〇〇番

酒井婦人病院 院長 酒井一郎

京城府明治町二丁目（本町江戸川横より入る）電話三七八番

内科 小兒科 チアテルミー科 入院隨意（普通病室 隔離病室）

中島醫院 院主 中島貞信

醬油之大王

キッコーリウ（龍）

十四金ペン付 THE KU END. 上田式銀行ペン供給

時ハ機敏、社會ハ常ニ一歩進ムヲ期待セリ

インキ止式萬年筆製作供給セシハ弊所ヲ以テ嚆矢トス萬年筆ハ既ニ普及セリ今、一步進メタル上田式銀行ペンヲ供給ス

現代文明ノ進歩ニ後レザラントスル人ハ本品ヲ使用サルベシ

吾人ハ以下說明スル如キ完全ナル上田式卓上十四金銀行ペンヲ提供ス由來萬年筆ガ如何ニ實用ニ適ヒ且ツ經濟的ナルカハ社會ノ所有ル階級ヲ通ジテ認識サレ使用サルルニ徵シ明ラカナリ而モ卓上事務用トシテノ慾望ハ更ニ輕便ト時間ノ節約經濟トノ點ニ於テスワン萬年筆製作所顧問上田龜太郎氏ノ考案ニナル事務用銀行ペンニ因テ現代的事務家ハ渴望ヲ充サル可シ、本品一棹ノ盘ハ總ク終日事務ニ從スモ手先ニ勞ヲ覺エズ至極愉快仕事ノ能率ヲ發揮セシム一度ペンガインキヲ含マバ優ニフールスカップ二三頁ヲ書スル事ヲ得、鋼鐵ペン牢ケ年分ノ價ハ優ニ八九年間ノ使用ニ耐得ル經濟ニアリ賢明ナル各位ハ必ジ本品ノ御愛用アラン事ヲ乞フ

各地到ル所ノ文房具事務用品店ニ販賣セリ設許ニテ御用命ナキ若シ無キ地ハ發賣元ヘ御注文ヲ名前金ニ限リ送品致ス可候

本品ハ貿融特ノ爲メ何レニ求メラルモ同價設步引割引等ハ致申サズ

一本ノ特價 金貳圓五拾錢

確固アル本品ハ陸海軍諸官廳銀行諸會社商店等多大ノ賞讃ヲ博セリ

發賣元 スワン萬年筆 大阪市東區平野町二丁目 大阪出張所 電話本局長四百七十一番 振替大阪四〇七四六番

二等（三十九名）林田吉造、有地哲、小林圭四郎、三上正明、草場幸太郎、二口鉦造、同幸、福島喜男、西川宗一、村上伊三郎、佐々崎鎌次郎、若森ヤス、井上滑

三等（二百五十一名）

十六日夜入港博愛丸上陸一二等客

三等（一百名）

十七日午後入港壹岐丸一二等客

商況

東京株式特電
十六日後場
東株新 一六七、九〇
鐘紡 九五、〇〇
商船 二三一、九〇
郵船 七〇、五〇

東京期米特電
十六日後場
寄付 三四、一〇
高値 三三、七五
安値 三四、〇六
止め

兵庫期米特電
十五日後場
寄付 三十四圓四十五錢
止め 三圓九十錢

大阪株式特電

大阪三品特電
十八日前場
十月限 四〇、六九〇
十一月限
十二月限
一月限
二月限 三七、三〇〇

大阪期米特電
十五日後場
寄付 三十四圓七十七錢
三節 十八錢
止め 三十錢

下關期米特電
十六日後場
寄付
高値
安値
止め

雜報

●絹糸布反撥
昨一致に四百圓臺を割りし大阪三品は前場も休日明けの今前場は米棉一圓

五十錢安にも拘はらず下げ渡き後の反撥にや當限四百六圓九十錢さ

八圓餘の引返し
綿布は三錢も十二圓丁度
●正米小安模樣
期米は正米對前寄り的氣分を脫せずして今尙戾り足の傾向なきにあらざるも漸次新穀期に移りて漸く戾り買人氣の勢力保ち難き傾向となりし同時に内地の正米注文も稍々薄らぎ來りしものゝ如く且つ一時當地に向つて買進みし

既約注文積出し
一段落
共に自然氣配軟化を引くに至れり地勢概米筋も先なる持へて一齊に買控ふる方針に傾き始め此處市況は頗る閑散あからずさなく

狀變りの模樣
を呈し自然氣配も軟化を帶び來りしが未だ賣人の態度強き爲め安値は商賣折合はず十六日以來

二三十錢安
の見當に至れり

●木炭持合ひ
は初秋の頃に於ける一圓六十錢内外を高値とし頭を打ち漸次相場引強みしが盛期に入りて以來

出廻り減退
し又不時なるも相場に大差なく最近

●石油依然强硬
石油は過日來米油の仁川に入荷せしも

十萬箱以上
に上れる筈なるも之は冬期の需要を見越したる國内の供給にて從つて會社の買出しの方針は從來通り制限を附する筈にて一方石油は其後見る可き入荷なく相變らず品ガスレの裡にあり其の相場は引締り居れば日先市中相場は確保すべき望み薄きが如く

高値
は前項の如く一圓五十錢より

二圓近くに維持
さるゝに至らん

●平板は低落
平板は厚板價格の引締みと一般荷動きの不活潑にて最近の内地市況面白からず安値を入れ勞銀十番にて中値

約十五錢
方低落し沈み印の五圓に唱ふるに至れり

●染料依然好況
染料は依然高値保合ひにて精和風の影響も一層感じ薄く殊に六人類は需要季節に入り引續き他の如く

インジゴ
の如き常況を呈し好方法へ好況を告げ紅

品切れ
となり又品薄なる供給を見つゝあり

●皮革類强硬
皮革類は引續き哈爾賓方面よりの輸入込み來れるも輸送上遲延にて既に發送されしものゝ中昨今

長春驛に停滯
せるもの頗る多く爲めに新規商談も好況の如く運ばず此虞暫く

●內地麥市況
小麥は賣買兩大手筋間の紛擾は解決せられざる結果市況は沈滯の狀況にあり

大麥
は近況の折柄概落の徴なり

京城正米市場
新穀の出廻り漸增に賣物相當あり

麥安
は外國米の關係上

仁川正米
二三十錢安
の見當なり

下關相場
大阪定期高も頗る著しく安人氣なく商談捗々敷から

頭重き成行
保合の裡に

市場雜觀

南大門廻穀
生魚市場
仁川期米
▲十八日前場（頭重し）
圓〇五錢と十一
錢高に寄付
十一錢さ上伸
デリ〳〵下歩
五錢さ暴落
八十

仁川米豆取引所仲買人
大五仲買店

仁川米豆取引所仲買人
廣澤正次郎
仁川海岸町三丁目 電話長七〇〇番

仁川取引所
十八日の十二月限

手筋が心機一轉
賣一買一

北濱たより
砂糖株
鐵工株

仁川米豆取引所仲買人
ナ 仲買店
仁川海岸町三丁目 電話長九〇五番

仁川米豆取引所仲買人
仲買店
仁川海岸町三丁目

青物小賣値

仁川米豆取引所仲買人 大倉 精米 輸出 倉庫

毛谷村六助 卅六番角力
桃川燕玉口演 浪上義三郎速記 第卅八席

秀吉公の仰せを蒙つて立花左近將監宗重が立たうこするさ、傍に控たるは奉行の筆頭石田治部少輔三成『恐れながら君へ申し上げます。以前は兎も角、當時は從一位の關白に渡らせられる御身を以て、氏系圖もなき土民の六助に輕々しく御目通を仰せ付けらるゝのは、却つて御威光の瑕に似たり、此儀御沙汰止みになつて然るべく存じます』秀『イヤ〳〵苦しうない、其方は何ぞと云ふが、土民〳〵と卑しめれども汝も元は山城の國宇治郡左官次村百姓佐次右衞門の倅佐吉なり、余も元は竹阿彌の悴、正則を見よ、桶屋の倅、加藤は鍛冶屋の輪役者ぢや』飛んださころで素性が露はれる加藤福島は大いに

作なうて遙か末座に平伏いたされ

◎安東縣近事

◎京城の名物
カフエータイガーの洋食こすき燒

暦
十月二十日 九星 甲子

演藝案內
有樂館 早川演藝部直營
不思議の鐵輪
◎正活劇『黒き雨』
灰色の幽靈
黄金館
詩館
大正館
ジャンダアク
アンブローズ渇望
慧眼
海野兄弟

ちんぞう

ゴム風船
二百箱限 大見切

男女のふみ
ラブレター

テンカン
ヒキツケ

たんせき 最新の良劑
セキドミン

ブルトーゼを召せ
正しき補血強壯劑進呈
國產「フエラトーゼ」こして帝國醫科大學病院及各府縣立病院の御賞用を添ふせる
種類
ブルトーゼ 補血强壯劑
アルゼンブルトーゼ 神經性疾患特効劑
ヨードブルトーゼ 黴毒性疾患特効劑
グヤコールブルトーゼ 呼吸器系疾患特効劑
キナブルトーゼ 健胃性補血强壯劑
發賣元 藤澤商店 大阪道修町 東京本町

かぜねつに一番よくきく
キナピリン
効 ●感冒 ●熱病 ●頭痛 ●インフルエンザ ●リウマチス ●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり
本舗 大阪市堂島 高濟盛大堂藥局

ベーリン
洋白色劑 にきびそばかす
發賣元 博仁房

ハカリ印のヘブリン丸
かぜねつの最良藥こして專ら賞用さるゝは配劑の妙を極め其効驗頗る的確なるに因る

花柳病外科專門
梅毒・痳病・泌尿生殖器病・痔核・横痃・皮膚病 司生堂醫院 電話三〇六五番

眼藥 一點
京城永樂町二丁目 ドラッグ商會本部

りん病 ばい毒

京城日報

第五版

講和と各國

無條件屈服を強らるゝ獨逸

京城日報

一

獨逸の講和提議に對し、米國大統領が與へたる三箇條の反問的回答は、一般に好評なりしに拘らず、英佛聯合國に於ては、寧ろ甚だ手緩くして、獨逸をして種々の口實を弄せしむる憂ありとの非難あり、以て米國輿論の甚だしく硬化したることを知らしめたるが、獨逸の再度の通牒に對し、去る十四日大統領の瑞西公使に交附したる回答は、斷乎として姑息の講和を排斥したるものにして、一讀眞に痛快を禁ずる能はず。

大統領がしかく強硬なる態度に出でたるは、西部戰線に於て、敵が軍容を完うして國境に撤退するの間隙を與へざるに在ること勿論なるが、能く自國及び聯合各國々論の歸趨を察し、最も明敏なる處置を取りたるものにして、さすがに聯合各國の牛耳を執るだけの價値を認むべし。

二

米國に於ける輿論の傾向は、各新聞紙の論說に於いて之を知るを得。即ち

紐育タイムスは曰く　和議に入るの先決條件は降服なるべく休戰なるべからず如何なる講和といへどもホーヘンツォルレルン家の臣民と議するを許さず　華盛頓ポストは曰く　獨逸が手に劍を握る間は如何なる講和會議といへども斷じて開くべからず　ミチアガリス、トリビューンは曰く　吾聯の見渡す所を以てするに無條件降服の要求を妨害せんとするものを非さする感情は漸く且熾なり且大統領ウヰルソン氏は無條件降服の要求を除いて他に戰爭停止の方法を講ぜんとすることあるべしとは吾聯思惟することを得す　カンサスシチー、ジャーナルは曰く　獨逸の回答は敗殘の敵の言とも見えず寧ろ獨逸は外交上の勝を制するを以て自任するの一種輕薄なる語句あるを認む　紐育トリビューンは曰く　現戰爭の勝利は唯正義を世界に行ふの一手段のみ吾聯の正義といふはカイゼル及び彼の名を以て横行せる一切の罪惡を死に處するの謂なり此の事にして米國々民の意にあらずといはゞ知らず米國民は抑々何者ぞ（華盛頓十四日發國際通信）

而して米國上院は、議員ロッヂ氏の發議を容れ、獨逸の無條件降伏を要求せりと云ふ。正に千里獨往の意氣を示せるものといふべし。

三

更に英國方面を見るに、總ての新聞紙（マンチエスター、ガーヂアン紙すら）は徹底的休戰條件を要求しつゝあり。即ちマンチエスター、ガーヂアン紙は來因河畔の要塞は言ふに及ばず、エッセンをも聯合軍に於いて占領し、且つ獨逸をして武裝解除を爲さしむべしと要求し、デイリー、クロニクル紙は敵は、撤退に際し全部の大砲を拋棄するか、然らざれば獨逸領土內の要害地を、聯合國の占領に委し、潜水艇及び艦隊を引渡さゞるべからずと論じ、いづれも徹底せる休戰條件を要求しつゝあり。

四

佛國下院外交委員會は、聯合國側は勝利者として當然要求し得べき滿足と報償とを、獨逸より提供せざる限り、休戰と雖も佛國の名に於て承諾せざることを、政府に向つて期待する旨を宣言し、又急進社會黨は、聯合國側の條件を承諾するまで、戰爭を繼續するの決心を宣言したり。要するに佛國も亦無條件降伏を要求するものなり

五

要するに聯合國側は、西部戰線の好況に乘じ俄然として強腰を据ゑ、特に墺匈國及び土耳其の窮に處して獨講和に出づべきを見越し、再び最初の『獨逸軍國主義の打破』に引返したるものにして、米國大統領が二度目の回答は最も明かに之を示せり。即ち大統領が七月四日の演說を引用し『世界の平和を攪亂し居る所有專橫の權力を粉碎すべし』といひ、又『今日まで獨逸國民を支配しつゝある權力は、獨逸國民自ら之を變更するを得べし』といへる如き、少くとも獨逸に於ける軍閥の徹底的排斥を意味するものならずばあらず。

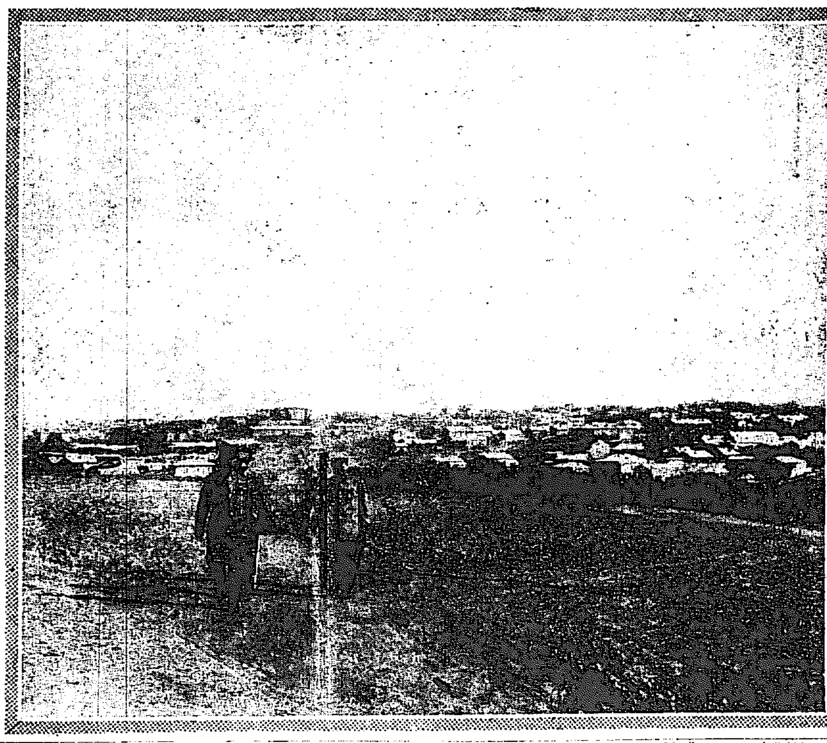
六

かゝる聯合國の要求に對し、獨逸は如何なる態度に出づるや知るべからざるも、即今獨逸は西部戰線に於て不利を來せりと雖も、英國新紙すら、敵が巧に不利の地位を去り、整然として退却し、軍需品すら遺棄せざるの事實を認めざるを得ざる程なれば、獨逸如何に疲弊せりとて、無條件休戰を承認するまでに至らざるべく、所詮戰爭は今少しく行詰まるまで繼續するものと見ざるべからず。然れども最近の歐電に依れば、獨逸の國情はますます不穩にして、講和の權力を國會に移さんとするの運動さへ起り、首相マックス公亦印綬を解きたりといへば、將來如何なる變化を見るやも未だ知るべからず。要するに講和の來ると來らざるとは、一に繫りて獨逸の國情如何に因るべし

中井錦城氏の國本培養論を讀みて（二）

南北生投

（一）耕地擴張　未墾地を開拓し墾地を整理するは異議なし然れ共畑を水田に交換するは考へものなり若し夫水利灌漑の便あり二毛作容易なる場合には格外とするも食料は要するに[illegible]ら畑を珍重すればなり（二）水利[illegible]水利事業が朝鮮殖業に必要なるは今更架說するまでもなし然れども朝鮮の地勢及び經濟力は之れが急施は謂ふべくして行はれざるを以て姑く現狀を以て滿足せざるべからず倂も之れを強行するに於ては地主は大院君當時の苛稅に困む奇現象を生ずべきは殷鑑近く全羅北道にあらざるか縱し氏の所說の如く東拓會社に本業を賦課するも彼れは營利會社なり損益と責任を打算するときは實行困難なり寧ろ官營となすに若かざるなり（三）粗種　改良は各地方官廳に於て鋭意心配せらるゝも今尚改善の實少きは要するに鮮農に恒產なきによる之れが向上せざる限りは望んで遂げがたきものとす猪苗代の改良手入れの如き農夫を訓練せざれば亦同一なり粗種については或は道各面數箇所に共同倉庫を設けて貯藏せしめ且之に遵據すべく模範を示さるゝも實効の見るべきもの少し予輩に一案あり小作粗千石以上を收納する內鮮人地主は其の一割を貯藏し種籾として供給すべき義務を負擔せしむ然るときは籾種は幾分改善の實功を奏すべき乎（四）蠶種　統一は氏の所說の如く個人の移入を禁じ總督府の手により分配せらるゝとせば事容易也（五）地味改善　を見ざる罪を一に舍音に荷するは當らず成程舍音なるものに弊害あるは予輩も之れを熟知す然れども鮮農が土地を愛護せざるは此弊害以外に農業資本の缺乏と水旱害を懸念すると從來米價の低廉なりしを主因とす氏は舍音の弊害を處て東拓會社に信託し小作收立を司らしむべしと說けり既に會社は定款に於て同業を爲すべく定められしも之れに託するものなきは故あり而已ならず東拓會社自身も亦舍音の弊害に困憊する大地主なり



◇大御心いとも畏し

從軍記者　金谷眞撮影

侍從武官尾藤陸軍少將は十月八日ハバロフスク著同日第十二師團長以下の將士に對し兩陛下の有難き聖旨を傳達した、此の日秋晴のハバロフスク兵營にては秩序整然として侍從武官を迎へ步、騎、砲、工、共に各兵營及び練兵場に整列した、少將の語るところによれば畏くも聖上陛下には常に戰地に於る出征軍人の勞苦の程を覺し召され皇后陛下にも亦氣候風土の異なれる西伯利の戰地を御心にかけさせられ日に增し寒氣の迫る今日頃日益々身體を愛護せよとの御沙汰であつた…と居並ぶ將士は此有難き大御心を拜し何れも天恩の無窮を感じ入つてゐた、寫眞の背景はハバロフスクの丘と市街

邂逅

佐々木峯雪

二十四　袖乞ひ（十）

學生は太い吐息した、『おやお前には生死の知れ無いお父さんがあるんだね』熱して居た梟眼鏡の學生は、優しい同情に燃る眼を向けて詞優しう問ふた。

『はい、わたしの五歲の秋、出て行つた限り音沙汰無しなんです』

『してお父さんの名は』

『庄左衛門と申します』

『お前は』

『わたしでございますか』わたしは庄吉と云ひます』

『あゝ世の中には斯うした可憐な少年も居るか、母には妳けなくして死に別れ、又しても父に離れ、人の最も遊びを求めて日もこれ足らぬ十歲未滿の少年を、それ程迄に虐げるとの物乞衛とか云ふ奴は、それこそ人面を借た惡鬼だ、惡魔だ、僕は』と又も詞には憤りの炎が燃えて、怒りに充血した目を瘦形の學生に移して『僕は、僕はその物乞衛とか云ふ惡魔に逢つて充分に罵つてやり渡い、そして思ふ樣面責して上で此腕の折れる迄打つてやり渡い』

學生の袖は肉と捲くり上げられて、陽に燒けた赤黑い腕が無雜作に露はれた。

『うむ』瘦せ形の學生は唸るやうに應へた。

『それぢやお前は盜人するのとは勝しだと思つて、恥かしきを耐へて袖乞いを爲ると云ふのだな』

『はい』

『どうだ君聞いたか、何んと感心なもんぢや無いか、そりや袖乞ひこそ云へ、見下た行爲だが、其處に年取つた親に義理ある育ての親、殊には大酒飲家の老爺を養つて行く料金の足しにすると聞いては、行爲こそ穢れてはあれ、其心には金銀財寶を以て贖ふことの能き無い珍い光りある貳物がある、僕は其行爲の善惡は扨て置いて、この可憐な少年の金で買はれ無い珍い貳物に感ずるのである』梟眼鏡の學生の眼は次第に曇つて、ともすると夕立にもならうとする氣色であつた

『同情するよ、君も人だらうに、人だつたら君もこの可憐な少年に同情を運ぶだらう、僕はもう全然同情する、聞けば聞く程淚ならぬは無い今の此少年の境遇、僕は殆んど泣かされた』と他の學生を顧みて云つた、はじめの激した詞に換へて今は其語さへ鼻へ掛つて、眼鏡越しに同情に浮いた露の玉が光つて見えた。

『そりや僕だつて同情するよ』瘦せ形の學生は聲を濕らす

『おや斯うしやう、今も話を聞けば、十一兩の金が七錢足り無いでも強い折檻を受けるさうぢや、それに今日は雨の爲にもう二十錢無ければ歸れないんださうぢや、さう云つて歸る時分は疾うから來て居ると云つて居る、さうだ君少し施してやつちや呉れ無いか』

庄吉はあまりの嬉しさに思はず感謝した、『濟みません、濟みません』

『いや』と手で抑へるやうにして『おや君も十錢を施してやつて呉れるか、僕からも御禮する、厚く御禮する』梟眼鏡の學生は自分の事のやうに、銀貨を受け取つて打ち悅んだ。

『さ、これで二十錢出來た、これを持つて早く歸りなさい』と自分も十錢銀貨を摑み出して『然し、いつ迄もこんな袖乞ひのやうな詰まらない事を爲無いで、外にいくらも仕事があらう、さうだあの夕刊賣りあれでもやると幾錢かは儲けがある、夕刊賣りなら恥かしい仕事ぢや無い、さうするが好い』世にも親切に云ひ聞けて銀貨二つを楔ふ手を合して居る庄吉に渡した。

『有難うございます、有難うございます、これで助かります、有り難うございます』

『遲うなつちや又叱られるだらう早く歸りなさい』

『はい』庄吉は夢かと打ち悅ん

本紙定價　壹部金參錢　壹ケ月七拾五錢　[illegible]
廣告料金　[illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介
發行所　京城大平通一丁目　合資會社京城日報社　[illegible]

[illegible]して間斷の已むなきに至るものな[illegible]して商[illegible]なりたるも中[illegible]以後の[illegible]ものに對して新法令の實行と共に[illegible]數の約半數を占め戰爭開始當時よ[illegible]機の出廻り造滯を免れざるを以[illegible]り倍額の增加を示し居り以て如何[illegible]て自然半船減若しくは七八分にて[illegible]に太平洋航路が本邦海運界に重要[illegible]

郵船會社	一九	八六、〇〇〇
東洋汽船	[illegible]	八二、六〇〇
商船會社	六	七六、七〇〇
東船汽船	三四	二六三、〇〇〇
其他	[illegible]	[illegible]
社外船		
合計	五九	五〇八、三〇〇

下關期米　十八日後場　寄付　[illegible]　高値　[illegible]　先限　中限　當限

[illegible]

寫眞少年

寫眞と繪畫にて滿載しここを少年少女より熱狂的歡迎を受けたる直觀的活雜誌を見よ

爆彈の威力（三頁大）　□機關銃隊の苦心□寫眞班飛行機撮影ノ苦心□斥候兵士の新聞讀み兵士□斥候兵の苦心□水を吞む兵士□砲彈上の午睡等

戰爭寫眞　歐洲西伯利戰爭

許斐少佐の勇姿　□浦潮の海岸□日本軍上陸□浦鹽の各國軍艦□聯合軍幹部□チェック司令官　其他數十枚

馬上の勇姿　新近衛師團長久邇宮

□大庭師團長△慰問袋調製△貰婦人の繃帶巻▲アルゼンチン公使恩賜券▲外米を獻上す浦潮の少年少女▲朝鮮會小學校青年團▲體育會の農業日下谷少年年▲東京少年團▲小寺少年會▲京橋乃木會其他新學習院初▲▲慈惠院の天眞長崎數十枚

コドモ時事

各小學校の活動

好評如湧　十一月號內容

成功美談　ボルネオ長政　久留島武彥

許斐少佐（軍歌）　葛原齒　小松耕輔曲

青島戰話　巫山の怪砲　陸軍中將堀內文次郎

西比利亜戰爭　第一戰の華　松本一郎

乘馬の新聞賣り　記者

優しき同情　二張羅　藤川淡水

寫眞物語　くるくる車　記者　武村久

歷史物語（現代對照說明）　繪はがき競べ　小柴博

キャラメルの拵へ方

大懸賞成績募集

株式會社東光園發行

東京淀橋柏木三八　電話番號五八四〇　振替東京二七七三四

定價一部廿錢郵稅一錢　每月一回一日發行

冬帽子

東京製帽子卸專門

新形多物全部荷揃

多少に不拘御引立の程願上候

本店　東京市日本橋區馬喰町四丁目　山脇製帽所

京城府漢江通八番地電話二三三番　近江屋　山脇帽子問屋

競賣期日公告

大正七年執第五號

一、京畿道楊州郡[illegible]坪[illegible]ノ金額拾萬貳千百參拾貳圓沙面金額貳萬貳千[illegible]分ノ壹（但朴[illegible]ノ持分權）

一、慶尙道[illegible]有者ノ處分權ハ朴基元ノ共同所有ノ業ニ付王三連中立ニ基キ朴慶尙道ノ[illegible]權ヲ付強制執行ニ依リ競賣ニ付ス

一、前記競賣ハ大正七年拾壹月四日午前九時京城地方法院驪州支廳ニ於テ驪州憲兵分隊內執達吏事務取扱ヲ爲シ

一、競落期日ハ大正七年拾壹月六日午前九時當廳ニ於テ之ヲ開ク

一、最低競賣價格金壹千圓也

一、登錄簿ニ記入ヲ要セサル權利ヲ有スル者ハ其ノ權利ヲ證明スヘシ

一、右登記簿ニ記入ナキ者及利害關係人ハ權利ノ申立ヲ爲スヘシ

競賣期日ニ出頭スヘシ

大正七年拾月拾六日

京城地方法院驪州支廳

內外雜貨　夕ネル印入　仁川宮町（電話一三六番）　富澤本店

建造用具　京城本町一丁目明治町通　富澤支店

工業發展の基礎

最新刊

商學士吉田良三先生著

工業簿記

即時送本

クロース製美裝釘　紙數三百四十頁　正價二圓　送料金十二錢

歐洲大戰以來我國の工業は顯著なる勃興發展をなせりと雖其經營成効に最も必要なる原價計算、記帳整理の方面に於ては猶大いに缺くる所あり而かも從來我邦には此方面の參考書一もなく大いに不便を感じたる所此缺陷を補はん爲我國工業會計學者の權威たる著者が心血を灑がれ上梓せらるものその原價計算制度を平易に實行し易く說かるは勿論又工場簿記として記帳整理の方面は詳說して餘す所なし眞に學者及び實際工業家の精讀に價するものなり

總目次進呈（送料二錢）

發兌　東京神田表神保町　株式會社　同文館　振替東京一三五番

新刊

內閣恩給局編纂

恩給總覽

本書は官公衙に奉ずる諸賢は恩給制度の詳細を知ること必要なり本書は實に內閣恩給局の編纂に係るものにして特に繁雜其の命を受けて之を刊行す。內容の整齊と體裁の完全とは多年の經驗に徵して明らかなる所。乞ふ速に一本を備へられん事を

壹千部限り特價金壹圓八拾錢（送料內地金十二錢）

菊半截版、上等洋紙印刷、紙數壹千餘頁、赤桃總クロース製表紙背金文字入無類美本、箱付、定價金貳圓

東京神田今川小路　清水書店　電話本局（九六四・九六五）　振替東京七四四七

葛原齒先生編

月刊

課外讀本

▲尋常三學年　▲尋常四學年　▲尋常五學年　▲尋常六學年

十月の卷　出來

子供のいふ事や、する事は直ちに其の親のどんな人であるかと想像されます。常に此の課外讀本を讀ませると、子供が自然に怜悧になる、行ふことも言ふことも必らず善くなります。どうか皆さんも必ず一册づゝをお授けになることをお薦めします。

全部四十八册　每卷廿八錢　郵稅一錢　每月一回發賣

全部取揃有

一月の卷　二月の卷　三月の卷　四月の卷　五月の卷　六月の卷　七月の卷　八月の卷　九月の卷

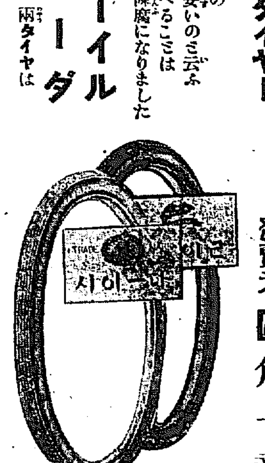
東京　博文館

世界的の兩タイヤー

品質がよいの價が安いのと云ふ効能を並べることはモハヤ陳腐になりました

チエーイル　シイーダ　兩タイヤは

品質に於ても耐久能力に於ても眞に世界的優品として推奬致します



發賣元　京城南大門通二丁目　圓角一商店

特約店　京城永樂町二丁目　橋本商會出張所

京城黃金町二丁目　高居自轉車商店

◇獨逸と講和

休戰の發頭人はヒンデンブルグ 講和招致は獨逸の大急務也

獨逸に於いて今回米國大統領ウイルソン氏の講和條件を容認し休戰を請はしめたる發頭人は宰相に非ずしてヒンデンブルグ將軍なりと又獨逸軍の防守は今後二三箇月を持續する事困難なり恐らく近き將來に於て軍容崩潰す可く國內には大革命の襲來眼前に迫るあり多數國民は如何なる代償を拂ふも講和を招致せんとしつゝあり(紐育電報)

◇結局降伏の他なし

ホーヘンツオルレン家の廢頽も亦近きにあるべし

獨逸の講和提議に對して米國大統領ウイルソン氏は明白に是を拒絕せるが其結果獨逸は果して如何の行動に出づべきかは未だ必ずしも豫測すべからざるも獨逸今日の窮狀並に墺匈國及び土耳其との離反の狀歷然たる形勢に鑑み獨逸は更に屈服的態度を示すと共に直に是を實行するの外無かるべしと信ぜらる蓋し西部戰線に於ける獨軍の大敗は今や到底挽回するを得ざるべく果して何れの線にて聯合軍の進擊を阻止し得るか問題にして其點に關しては各國軍事專門家は齊しく其絕望的態度を認めつゝあるのみならず獨軍も亦是を認め居るものなり殊に此際墺土兩同盟國離反の兆あること明かなる事は前途をして益絕望的ならしむるのみならず獨逸國內の士氣を沮喪せしめ遂に國內革命を惹起せしめずんば已まざるの觀あり即ち外電の所報に依れば獨逸社會黨は早くもマックス宰相の辭職を迫れるが如き狀態の一斑を窺はしむるものと觀測せらる是を要するにウイルソン氏の回答は獨逸の屈服に一步を進めしめ且つ迅速ならしむるものと云ふべし獨逸はウイルソン氏の條件に從ひ結局軍隊の撤退を實行すると共に其根本的方針として遂にホーヘンツオルレン家の廢頽又近きに切迫し來るべしと信ぜらる(東京特電)

◇英紙の講和觀

何れも強硬なる態度

倫敦の新聞は一齊に獨逸の講和提議を排斥し此提議は獨逸の敗戰を自覺せる窮策なりと斷じ宰相が獨逸の民主化を證するものなりと言へるを冷笑し「カイゼルは今尙ほ軍隊への命令に其權力を振へるに非ずや」と言ひ講和の先決條件は唯だ獨逸の無條件降伏「ポツダムなる戰爭製造者の驅逐あるのみ」と論じ尙ほデーリーメール紙は獨逸は掠奪せる一切の財產を返附し其加へたる損害に賠償すべし此戰爭を開始せるカイゼルを初め一切の元兇を聯合國に引渡して審問を受けしむるを要す又聯合國に於て占領せる獨逸の植民地は如何なる事あるとも斷じて之れを還附す可からずと論ぜり(倫敦電報)

◇武力解決近し

佛軍最高統帥の聲明

佛軍最高統帥部は獨逸が直ちに屈伏せざるも來年度初頃には武力解決を爲し得べしと聲明す(巴里電報)

◇米國對獨回答と佛國

休戰並に講和問題に關する米大統領の第二回對獨回答は佛國輿論の滿足を買獨逸の聯合與國離間策は不成功に終れり(巴里電報)

◇獨宰相書信曝露

某所著電=獨逸宰相マックス公が本年一月其從弟にして瑞西に住居せる平和主義なるホーヘンローヘ公に送れる反獨意見の書信の暴露は漸く多數黨の忿怒を惹起し爲に宰相の位置今や危殆に瀕せりと(東京特電)

◇金劵條例抗議 內容

北京駐箚四國公使は更めて支那政府に對し金劵條例は[illegible]

◇インフルエンザ病源發見

[illegible]

◇敵の秩序的退却

信憑す可き說に曰く敵の退却は現在秩序的にして概して躁急ならず敵は如何に觀ても絕望的情態にありとは見えず敵は東北方に於ては頗る易々として遊擊しつゝあり目下のところ擊破されたる態度を執り居らず敵は見事に窮地を脫したるに相違なしされど敵の地步は不安にして殊にオアーズ、スカルプ河間は頗る窮地にあれば結局大打擊を受く可く蓋し息を繼ぐを得ざる可しと(倫敦電報)

◇獨軍芬蘭を撤退

華盛頓に達せる報道に據れば獨軍は今や芬蘭より撤退しつゝありと(桑港電報)

◇墺新內閣組織命令

某所著電=墺國皇帝は首相フサレクの辭表を聽許しシルヴア、タルーカ伯に內閣組織を命ぜり(東京特電)

◇歐露大動員別報

歐露よりの最近の報道に據れば露國內に於ては最近一般的大動員行はるゝもの如く這は西伯利方面及び佛英軍と對抗しつゝある獨逸軍に參加して戰線に赴かしむ可しと(哈爾賓電報)

◇漸次日本人信賴

日本出兵に就ては最初疑惑の念を存したるも此疑惑は漸次消失しつゝあり ヴオルガ河烏拉爾山地方にては米國の軍事的援助を受くるの望み少くなれると共に露國人は益日本を信賴するに至れり(浦鹽電報)

◇炭礦買收不許可

西伯利政府は日本人のトランス貝加爾州チエルニゴウスキー炭礦買收の要請を許可せず但し其株主として事業に參加するは差支なしと(浦鹽電報)

◇總理代理期間延長

錢能訓氏の總理代理期間は十日間と稱せらるゝも當分正式內閣成立の見込無きより十五日國務會議に於て其期間を更に延長する事に決せり(北京特電)

◇軍民分治實行乎

徐總統は十四日湖南、浙江兩代表者を接見せる節西南を接合し自ら時局を解決せる上民政を整理し軍民分治を實行する本意なる旨述べたりと(北京特電)

◇曹錕休暇願出

副總統に失敗せる曹錕氏は十六日總統に半箇月の休暇を得て天津に歸り病を養ひ度しと願出でたり(北京特電)

◇段辭表提出乎

陸軍總長段芝貴氏は病氣の爲め近く辭表提出すべし(北京特電)

◇水原農林認定

水原農林專門學校卒業生は文部省告示二百八號にて文官任用令第六條第一號に依り文部大臣より認定さる但し專門學校令に依り專門學校に入學の資格を有し又は專門學校入學者檢定試驗を受け入學し卒業したる者に限り効力を有する事十八日官報にて公示されたり(東京特電)

◇後藤男渡支期

後藤新平男は十一月上旬東京發支那視察の途に上る由(東京特電)

◇木村書記官轉動

務打合せの爲め歸朝中の木村書記官は十八日夜西伯利に向け東京出發の筈(東京特電)

◇兩將軍通過

竹內中將、[illegible]野少將は十八日夜哈爾賓より來[illegible]

◎長春の初雪

十七日夜九時より烈風の中に降雪あり約一寸餘積り十八日は風強く[illegible]

◎澤代議士家宅搜索を受く

[illegible]

◎奉天の初雪

十七日夜[illegible]降雪ありたしく積む事五六寸に達し四面白皚々たり(奉天特電)

[illegible]成績を發表したるが十四名の受驗中三名の合格者あり其受驗番號左の如し第一號、第四號、第六號

[illegible]る形跡なく又許文も除り多額に上らざる如く其原因は新穀出廻期を見越し內地商人の仕入を手控へせ[illegible]

六、同七日 十一月八日 十二月[illegible] 大連 大阪 青島 大連 [illegible]

石[illegible]は神戶海運界に興味ある問題として其方針の早く明示せられんことを待ちつゝあるが恰も十五日は[illegible]運用に關しては大いに緩和さるゝの取扱はなさゞるべく必ずや其如き不許可主義を取りたる[illegible]

◇持地遞信局長官

持地遞信局長官は十六日夜來長十七日直ちに南行せり(長春特電)

◇森田吉林領事

森田吉林領事は十六日夜來長十七日赴任せり(長春特電)

◎穀物出廻と輸送力

久保滿鐵京管局長談

朝鮮の穀物出廻期に於ける鐵道輸送力問題の漸く喧傳せらるゝに至りしは一昨年即ち大正五年末よりなりしが他貨物の出荷激增と共に亦穀物の出荷も增加し穀物の出廻期は益々輸送力の不足するは免れざる所にして本年も此の時期迫りつゝあれども現在の鮮線內輸送力を見るに常に鮮內輸送力の總數一日平均の約十日分宛の貨物停滯しつゝあれば愈々穀物の出廻り旺盛期となれば到底輸送力の完全を見る事の不可能なるは明かなり而して輸送力は昨年と異なる所なきを以て之れ以上一時に輸送設備を增大せよと要求せらるゝも此際不可能なれども輸送力は輸送設備と之に對する施法により多少增大を期するを得べきに依り昨年の穀物出廻期に於ける經驗に則り今年は貨車の配給其他積卸し等に就ても留意して出荷主に對し便宜を與ふると共に朝鮮線の輸送力を最善に利用すべきは獨り穀物の出廻り期に止らざれども來るべき此の機に際し從事員に殊に注意したる通りにして今年度後期計畫として茲に於いて鐵道の輸送力は如上の輸送力增大を計らんが爲め機關車三十三輛の購入をなす筈なりと雖も現在の出荷激增に對してはさまで增大と云ふにあらず却つて現在の車輛が極度に使用せられ居るを以て此等の修繕をなす等に依り輸送力には當分其の增大は見らるべくもあらず故に當局に於ては最善を盡したる後は如何なる批難をも甘んじて受くる積りなり

◎鮮鐵營業收入

十月上旬分鮮鐵營業收入概算を調ぶるに客車收入に於て二十三萬四千九百八十六圓貨車收入に於て廿五萬七千九十六圓運輸收入に於て四十九萬二千八十二圓を算し一日一哩平均收入四十四圓六十五錢に相當し居れり今之を各線別に示せば京釜線に於ては客車貨車運輸收入に於て四十九萬一千四百六十四圓京義線三十一萬二千九百三十二圓京元線三萬三百七十四圓湖南線十萬九百十八圓等にして咸鏡線北部を除き何れも前年同期に比し增加し居れり

◎貨物引換證改正

這回滿鐵京管局線並に京管局線及び當局線經由發著聯絡貨物及び小荷物に對し使用の貨物引換證は其の樣式を改正せられ本月十五日より新規のものを發行する旨運管理局より滿鐵京城管理局へ通知ありたるが其の聯絡貨物引換證の裏面には運送より生じたる債權の取立及び物上擔保權の行使に付きては各線互に代理すること雖も各線は相獨立して各自所定の規則(船舶にありては其所定の船荷證券面記載の條件)に依り所管線內の運送のみを擔當し之れに對して責任を負ふ旨及び先だちて運送に從事する鐵道若くは船舶の責任は後の鐵道若くは船舶に引繼を了すると同時に終了し之に對する運賃請求の權利は假令全他運送より生じたる權利は運送の終了以前に於て如何なる事由を生ずるも變動を受けざる旨及び其他を附記しありと

◎軍事郵便注意

鳥田通信課長は這回全鮮各郵便局所長に對し軍事郵便取扱ひに關し通牒を發する所ありたるが右に依れば西伯利及び北滿方面宛軍事郵便の取扱ひ方に關しては八月二十四日附を以て要領を夫れ〴〵注意し置きたるに拘らず今尙違例の取扱ひ多し付ては左記各項諒知の上將來行違ひなき樣一層の注意を爲す可し

▲通常郵便 第一種書狀第二種郵便葉書第三種新聞の類注意冊子と爲したる第三種郵便及び寫眞等の第四種郵便物は取扱ひを爲さざるものとし小包郵便は公用のものに限る

▲特殊取扱 公用軍事郵便物書留、別配達、配達證明、留置、約束郵便、私用軍事郵便物、書留、留置、約束郵便

▲郵便料金 料金完納のものに限る但し別配達料及び小包郵便物の轉送料附に關しては別に料金を徵收せざるものとす注意小包料金は朝鮮と關東都督府管內間發著のものと同一とす

▲郵便の表記方 必ず表に軍事郵便と記載を要す尤も其の記なきものと雖も出征部隊に屬するものなる事判明し且他に總ての條件を具備せるものは軍事郵便として便宜取扱ふ可し

◇獨逸遂に條件全部承諾

アムステルダム來電=伯林電報に據れば獨逸は米國大統領ウイルソン氏の條件全部を承諾したり但し獨逸人民の利益が保護さる可しとの大統領の言明を求む(東京支局至急電報)

◎定例長官會議

十八日午前十時より總督府會議室に於て定例長官會議開催各部局長官出席政務に關する打合せをなし正午散會せり

◎石塚總裁滿洲行

東拓社總裁石塚英藏氏は來二十三四日頃東京出發滿洲視察の途に上る可し

◎川上理事東上

石塚東拓總裁は來る二十一日東京出發滿洲各地視察の旅程に上る事となり居れるが同總裁出發以前に打合せを爲すべき緊要事項發生せる爲め川上同社理事は十八日午前八時四十分南大門發の列車に搭じ急遽東上せりと云ふ因に同理事は約三週間東京に滯在の豫定なり

◎定例驛長會議

去る十五日午後二時より鐵道俱樂部に於て定例驛長會議を開催したるが特に穀物出廻り期に於ける驛務及び輸送上につき打合す處ありたり

◎鮮銀支店長披露宴

朝鮮銀行にては來る二十二日仁川に於て新舊支店長の交迭披露宴を催す可し

◎鳥居通譯東上

外務省飜譯官兼總督府通譯官鳥居忠恕氏は本省と事務打合せの爲め往復約十日間の豫定を以て東上する事となり十八日午後七時五十分南大門を出發す

▲ローズ大佐(駐支米國公使館附武官) 十八日夜入京朝鮮ホテルへ

▲西川宗一氏(日本產物株式會社專務) 同上山本へ

▲村上伊三郎氏 日本物產會社員 同上

▲坂本金彌氏(代議士) 入京天眞樓へ

▲[illegible]根正次氏(代議士) 同上

▲與川省三氏(關東都督府事務官) 入京而尾へ

▲川上常郎氏(東拓理事) 十八日朝東上

▲石塚英藏氏 二十二日東京出發歸任

▲柳瀨正之佐氏(代議士) 十七日夜出發歸京

◇鳥瞰雜俎

ウイルソン君が差し出した長い竿が獨逸の蜂の巢に當つたから堪らぬ親蜂子蜂が唸り出した▲此奴は愉快だと日本の物は拍手喝采して見て居るがウイルソン君が却々手硬く蜂の巢を叩くから獨逸の蜂の巢はブン〳〵大騷ぎを始めた▲序手に蜂の巢の根本から叩き落さねばならぬが親蜂が逃げ出すか子蜂が親蜂を刺し殺すか面白くなつて來た▲獨逸の軍隊は事實に於いて最う闘志がない將校連は辛ふじて潰亂を防いで居るが何う踏ん張つても最う駄目だ山が見へて居る▲西部戰線で第五十二師團の工兵第百三十七大隊なる兵士は將校を射殺して居る▲エストンヤでは數百人の獨兵が赤旗を押し立て『マルセーユ』を唱ひ何人も鎮撫する事が出來なかつた▲段々お隣の露國の革命が傳染して來たらしいレニンやトロツキーがソーレ見ろ今に始まると云つたではないかとニヤリ〳〵して御座るだらう▲米國の鼻息は實際大!たものだが何と云つても黃金で戰爭をする米國には勝てぬ▲米國の戰費は去る八月が開戰以來の最高レコードで月額總計十八億五百五十萬三千弗で從來の最高レコードを破る事實に二億弗である▲之を一分間に割當て見ると四萬四百四十六弗と云ふ驚盗になるが此の內十五億二千四百九十萬弗は陸海及び空中の純戰費である▲一分間の戰費四萬弗なんて此の樣な國が何處にあるのだ恐らく歷史上にも見出す事が出來まい寧ろ物凄い氣もする

法人登記公告
一、金融組合登記
右大正七年拾月拾四日登記
京城地方法院鐵原支廳

法人登記公告
一、麟蹄金融組合登記事項中變更
右大正七年拾月拾四日登記
京城地方法院麟蹄出張所

法人登記公告
一、洪川金融組合登記事項中變更
右大正七年拾月拾四日登記
京城地方法院洪川出張所

法人登記公告
利川金融組合並長湖院金融組合登記事項中各左ノ一項ヲ追加ス
出資一口ノ金額金拾圓
右大正七年十月拾四日登記
京城地方法院利川出張所

法人登記公告
楊口金融組合出資一口ノ金額ヲ金拾圓トセリ
右大正七年拾月拾四日
京城地方法院楊口出張所

法人登記公告
一、漣川金融組合登記事項變更
出資一口ノ金額拾圓
右大正七年拾月拾四日登記
京城地方法院漣川出張所

法人登記
一、湖川金融組合登記中出資一口ノ金額ヲ拾圓トス
右大正七年拾月七日登記
海州地方法院平山出張所

南米へ行け
◎在外同胞の羨しき成功
我在外同胞にして巨萬の富を有する者も少くない其の重なる者は南米の同胞である話を聞くだに痛快ではあるまいか狹き國內に跼つて成金を羨むより自ら奮起して國外に出づべきである移住の方法としては移民會社もあるが勤勞賃の閑から住所式に南米の事情を聞いた位の事では迚も安心の出來るものではない一讀安心の出來るものは「南米移住法」である本書は內地より南米迄の航路渡航手續きから移民會社の事情南米迄の旅費南米の事情就職手續き等手に取る如くに解る一度南米へ渡航せんとするもの南米各國の事情を知りたき者は是非讀まねばならぬ有益書である希望者は東京市京橋區南傳馬町二丁目三番地廣友社振替東京三四四五五番へ郵送料共金六十錢御申し込めば直に郵送さるる由

最新刊
鑛石と探鑛法 三、五〇 一八
鮮の冬と防寒法 一、五〇 三五 〇四
朝鮮農業後鑑 一、三〇 〇八
共同海損論 一、三〇 〇八
理想的家の造り方 一、六〇 〇八
高小理科家事教授の準備と其實際 八〇 〇八
兒童理化實驗法 一、五〇 一二
小工業問題 一、二〇 一二
神曲物語 四〇 〇六
太閤記物語 九〇 〇八
落語の落 七〇 〇八
詩の作り方 六五 〇六
金は金を生む 一、五〇 〇六
諸國漬物法 一、二〇 〇八
會計の智識 一、七〇 〇八
農村問題の解決 一、七〇 〇八
京城本町 大阪屋號

寫眞技師二名
至急入用
太郎上町 獨立軒

女中入用
京城南大門外 電話三一六番 齋藤商店

家事取締
家庭教師兼家庭婦人雇入たし但し獨身者に限る三十歲以上月給卅圓內外
京城南大門外 電話三一六番 齋藤商店

電話譲受けたし
至急(姓名在社)

內勤外務員高級二名採用
希望者は履歷書携帶午前中來談
京城明治町一ノ五四 大正生命保險會社京城支部

京城鍾路 オキシパサー
一週間三圓各疾病治療偉大 也
說明書進呈電話一二七七
京城諸町浦尾前 酒本高明商店

◎店員に女事務員
十五六歲より廿五六歲までの者至急入用本人來談又は履歷書送れ
平壤旭町丁子屋洋服店電話長二七番

ほねつぎ うちみくじき
一切の治療御依頼に應ず
明治町 柔術道場

恩給年金
低利長期即時立替利息前引なし
四年半迄保險不要
商品陳列館前下角 京城永樂町一
表門 江州屋本店

恩給立替
金は證書引換に御渡し致します
地方は規定書送呈す電話一〇六〇番
京城府若草町 便ポスト前入 西村商會

魔法瓶中瓶
魔法瓶及魔法中瓶取替
京城本町一丁目 電話一三四番 高木旅行用具店

◎レール至急賣却
但し十二ポンド中古軌道
京城黃金町一 三井物産西側 產興商會

不用品高價買入御一報次第參上
黃金町三 電話一八六二 關根古物店

代診生及藥局生至急募集志望者は本人左記へ申込まれたし
京日仁川支局 姓名

京日案內
▲申込用紙 ▲六回以上 ▲御照會は
普通一回前金七拾錢 番外一回前金[illegible]

寫眞
京日寫眞製版部

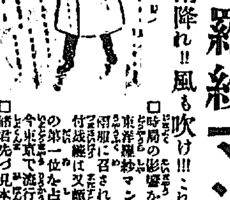
土管建築材料
セメント石灰
硅藻土火山灰
左官材料一式
各種色土砂
布海苔蓆
各種塗料品
左官用、東京鏝
煉瓦用、東京鏝
建築材料種々
各種耐火煉瓦
煉瓦土管瓦
各種莚類製造
京城電氣株式會社製 瓦斯コークス コールタール 特約販賣
九州火山灰合資會社 特約販賣
小野田セメント株式會社製 石灰特約販賣
京城旭町二丁目 電話九八四番
卸商 戶澤商店

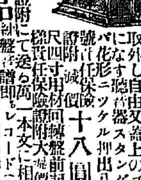
造船術講義
就職紹介す見本付規則二錢送れ贈呈
東京本所西竹町
技術員大缺乏の急に應ぜんとする本講義は最速成法の得たるもの... [illegible]

新式奇拔 精神療法 傳授
◎傳授書(精神醫學講授秘錄)は奧傳の大冊
本會々長多年苦心研究發見無類の治療法、奏効百發百中會員低廉の傳授親切、療法奇拔、新職業として收入多大
ハガキで御照會次第詳細說明書無料贈呈す
大阪市南區天王寺勝山通一清壽院 帝國精神療學會

閉店廣告
秋冷の候各位益々御隆昌の段奉大賀候時勢に鑑み今回業務擴張の爲め大阪市西區境川町十四番地に於て從前通諸機械業に從事仕候間何卒舊倍の御愛顧御引立の程奉希上候
十月十八日
京城南大門通五丁目八
機械商 伊藤商店
伊藤徹雄

東京自動車學校
京橋區 東京市
短期に收入莫大の技術を授く 校外生校內生規則送る 大阪に分校あり

東洋羅紗マント 特價提供
雪降れ!雨降れ!!風も吹け!!!これさへあれば安全第一

□時局の影響を外にして悠々闊歩せる東洋羅紗マントは豪氣で高尚和洋兩服に召されます。品質は責任保證付裁縫は又頗る入念。本年の防寒具の第一位を占むる東洋羅紗マントは今東京で流行の中心となつて居ます
□諸君先づ見本を請求せられよ御申越次第即刻無代贈呈す。
寸法●將校マント(頭巾付)
出尺△二尺五寸 七圓五十錢
色合△三尺 九圓
は霜降△三尺五寸 十一圓
と茶△四尺 十三圓
の二種●無尻外套(頭巾付)
有▽四尺均一 十一圓五十錢
送料 一枚廿四錢 縞餅 四十五錢
代金引替小包は十錢增の事
□ハガキにて御註文の方には代金引替で直ちに發送す。
發賣元 東京本郷西竹町三十二番地 岩井久商店 振替東京四〇八三五番

大聲蓄音器大景品附 責任販賣

本品寫縱橫一尺五分高さ六寸用材桃花心木製、外部の金物金具は美麗なるニッケル鍍金、振動板はスタンダード原動機にてゼンマイは自由又適宜に調節し得る名品...
號附屬レコード三百回使用保證...十八圓
證附十圓五十錢
發賣元 大阪市西區高津四番町 振替大阪一四六八三番 帝國蓄音器商會

優等清酒

釀造元 廣島縣西條町 木村靜彥
發賣元 京城府鍾路(中央市場) 河野酒店 電話二三〇八番

木炭 平壤栗 (卸小賣)
根炭 白炭 山成り德用品 手撰德用品虫喰なし
御用の御方は電話三〇八番に御用命被下候へば即時配達可致候
京城本町三丁目 貿易雜貨商 藤富國太郎商店 長電話三〇八番 振替京城一七七八番

…ものにして右に對する同客に満足の意を表したるが今回は謝狀を何本的に寄せるものなり（北京特電）

…しインフルエンザの病源今回佛人により發見されたり（巴里電報）

…にして昨年より早き事十二日本年より遲き事二日なり（長春特電）

…の米穀動首賊者の襲擊の爲めなりと傳へらる（仙臺電報）

…藥劑師試驗は本月十日より總督府醫院内に於て施行中の處學術試驗は十五日を以て終了し十六日午後…

…仁川港に於て本月六日より十三日…近縣移出せし米穀は左記の如くなるが…者は餘程有利ならざれば引受けざるものなるが如し

仕向地　數量

○管船運用緩和

…野田新遞相が船舶管理令の運用に就て如何なる方針を採るやに就て…する筈なりと云へば一般海運界は…遞相の打解けたる態度に對し滿足し前遞相の如く外國諸港間の航行…

◇秋祭二日目の賑ひ

（上）華かに着飾つた妓生の群（下）本社前の人の波（右）作り物神輿を舁いだ少年團

○セミヨノフと語る

ピアノの音熱帯植物の緑を掠める展望車内の會見

◇見るから英雄らしい風貌

從軍記者　早川磐溪

東京記者團及び余はセミヨノフの特別列車に便乘以來セミヨノフと會見する機會が無かつたが六日午前十時カリムスカヤ驛を過ぎクルチナ驛に達するやセミヨノフより茶の

▼招待旁々會見

したき旨黒木大尉を通じて案内された。×早速セミヨノフ及び幕僚の乘れる一等車に訪れた車内は展望車式

▼熱帯植物が緑

を滴らし次の室から醇かに漏れ來るピアノの音は幾日か荒涼の廣野を過ぎ來つた我等の耳目を限りなく喜ばした、セミヨノフは我等が近づくや否や無限の喜びの色を湛ねたるか如き表情にて石よりも固き握手をなしたる後『余は余の後援者たる日本國民の代表者たるべき貴下等ミ一堂に會するの光榮を有する事を感謝す』ミ述たるが彼の風貌は一代の快傑ミ謳はるゝ丈に堂々たる者で額は

▼奈翁に酷似し

額は蒙古人種特有の骨格を有し見るからに東洋流の英雄らしきタイプを有つてゐる、セミヨノフの挨拶に對し我々は『余等は祖國のため孤軍奮闘し居る英雄ミ卓を圍みたる事を光榮ミす、日本に於ける三尺の童子ミ雖も貴下の英名を知り貴下の風貌を知らざるものなし全國の新聞紙は一齊に貴下の一擧一動を悉く報導し國民に貴下を紹介しつゝあり、若し貴下にして日本に赴くが如き事あらば日本國民は熱誠を以て歡迎すべし』ミ言ひたるに對しセミヨノフは

▼會心の笑を浮

べ終始『有難う』を繰り返したり我々は紅茶を啜り黒パンを嚙りつゝ快談を交へたる後辭去したるが別るゝに臨んで『貴下が特に我等ミ會見のために列車を廿分間停車せしめられたるは感謝に堪わず二十分の會見は時間に於て短しミ雖も永久に記憶せらる可し』ミ言へば『余又然り』ミて固き握手を交へたり（チタにて）

□神嘗祭　御親祭

十七日神嘗祭に就き　聖上陛下には神宮御遙拜所にて御親祭行はせられ御參列の宮殿下其他の御拜ありたり（東京特電）

▼素晴らしい　統領の人氣

チタ驛頭見物人の山を築ぐ

記者の同乘せるセミヨノフの列車は六日正午チタに到着したるが列車が停車場に達するやセミヨノフ麾下の哥薩克兵三個中隊は軍樂隊を先登にプラットホームに整列して出迎へたりセミヨノフは

◇◇閲兵を　なしたる後チタにある紅白軍將校及び西伯利政府員我第三師團將校ミ一々挨拶を交して直ちに司令部を訪問したるが驛構内には見物人山を築き却々の盛觀を呈したり當地に於けるセミヨノフの

◇◇人氣は　素晴らしきものなるがイルクック以西に退去を命ぜられたチエック軍の一部にして種々の口實の下に滯留し居るチエック軍人は冷笑的の面持にてセミヨノフ到着の光景を眺め居たり

▼アンペラ敷の　師團司令部

水清きチタ市　西伯利の京都

我々從軍記者團は停車場より直にアムスカヤ街なる第三師團司令部を訪問したるが同所は元アトロワ

◇◇百貨店　にて後貝加爾に於ける唯一の商店なりしも革命以來過激派の壓迫する處ミなり商品は全く缺乏したる結果閉店したるものにて二階には西伯利政府在し司令部は三階を使用し居るも頗る手狹にて將校は

◇◇板の間　にアンペラを敷きて寢ね椅子腰掛等は充分になく不便言語に絶し居れり西伯利政府軍は六日頃より動員を開始し居るを以て二階も新司令部に明け渡す事ミなり居れり當地の氣候は朝鮮の十二月中旬頃なるも日中は暖かく外套を脱はずして外出する事を得る程なり市街は

◇◇露人の　建てたるものにて街區整然たり周圍は山を以て圍まれ水清ければ在留日本人は西伯利の京都ミ稱し居れり人口約十萬日本人は百二三十人にて日々増加しつゝあり（チタにて）

○朝鮮牛　四萬頭

農商務省の手で　内地に移入

農商務省では今回牛價の調節に努力する事ミなり今年中に朝鮮から約四萬頭の牛を移入するミ共に牛の繁殖生産に努力する者に對して獎勵金を出す事にしたミ

○還御祭

京城神社の恒例大祭終了

十八日午前八時龍山御旅所御發幸祭の儀ありて御輦は同午後五時神社に還御ありたる迄の模様は昨紙夕刊所報の如くなるが還御ミ同時に還御祭を執行し齋主御靈代を奉じて神殿に移し奉り次いで神饌を捧獻、齋主還御の祝詞、齋主玉串捧獻、祭典委員總長玉串捧獻、同撤饌撤去、齋主御閉扉を以て齋主齋員參列員退し斯くて三日に亘る京城神社恒例大祭は何等支障なくいミ崇嚴裡に祭式次第を終へたり

▼練り歩いた　假裝姿

本町筋の雜沓　最終日の賑ひ

俄に寒氣を加へた爲めた大祭の終の十八日夜は前夜に比べてずつこ人出が尠かつた、それでも本町筋は可成の雜沓を呈し根氣強い連中は寒さにも怯けず假裝姿で練り廻り新券、中券の兩券番の紅裙は例の仕丁姿で甲斐々しく三味や大鼓で囃し南山町、櫻井町などの屋臺は相變らず元氣よく引つ張り廻されて居た、各商店の店頭装飾は前晩より更に意匠を凝らしたものがあり中にも丸一呉服店の浦島太郎の作り物は頗る人目を惹いて居た、同夜は七時頃から間斷なく南山から煙火が打揚げられ祭典最終の夜を飾つた、餘興の中では第一區の大虎ミ山鹿囃子、山車、株式現物團の行列を始め振つた物は昨年よりも多かつた

◎新聞社を訴ふ

木浦錦南株式會社解散に伴なふ清算に付き株主側に不平起り本月二日開會の筈なりし總會は延期となりしが此間光州日報に於て盛んに清算人たる元社長木村健夫元專務山野龍三兩氏の行爲を攻撃せし爲め兩氏は光州日報を相手取り誹毀の告訴を提出せり（木浦）

○守備兵自殺

私服の憲兵を毆打した爲め

奉天守備隊城内派遣大隊三中隊一等兵油井貞雄は十四日朝營所裏にて小銃彈を使用し咽喉を貫きて自殺せり原因は私服の我憲兵を夫れと知らずして毆打したるが爲めなり郷里には父一人ありと（奉天）

◎總監部の射撃會

總監部職員全部は來る二十三日早朝より龍山陸軍射的場に於て射撃會を開催すべしと

○産婆看護婦の卒業式

十八日午後三時より京城醫學專門學校講堂に於て第八回助産婦科第十一回看護婦科生徒の卒業證書授與式が舉行せられた定刻職員生徒先づ入場し次いで來賓參席するや君が代の合唱勅語の捧讀あり芳賀校長は助産婦科四名、看護婦科九名外に赤十字社の委託生十五名に卒業證書を授與し優等生李興仁、金貞喜、關コスエに賞品を授與した後温情溢るゝ訓辭をなす、卒業生總代として助産婦科は李興仁、看護婦科は關コスエの二女答辭を述べて式を閉したるが來賓として紳士淑女多數參列したり

◎巓屋殺しの情婦

忠信の秘密（八）

盛られたる戀の甘酒　金縁眼鏡の婦人は誰？

都野川は女の意氣に感じ女の經歴に感じ、女の容色に溺れて了つた

初對面の時

都野川はあまり服裝に頓着しない男であつた

それは某料亭に於ける初對面の時であつた。都野川は藝妓忠信を呼んで戲談口を利き乍ら頻りに杯を交した。そして兩人の頰は微醺を帶びて來た。

『ちよいミ旦那！貴郎は隨分磊落なのね！』

忠信は凉しい瞳に意味深い輝きを見せ、燃るやうな唇の間から金齒を覗かせ乍ら嫣然ミした。都野川は一寸自分の服裝に眼を落して

『さう見ゐるかね、俺は絹衣物なぞか持合せがないんだ。それでも武術も心得てゐるし、唄も歌へるから心配し給ふなアッハゝゝ』

都野川は元氣よく笑つて女に杯を差した。

盃を交して

女の口からは意想外な甘い囁きが漏れて出た

『だつてそれではあんまり無粋だわ、奧さんからもつミ氣が利いた衣物を作つてお貰ひなさいましな！』

『奧さまも生憎そんな金持ちぢやないんだ。お前から作つて貰つたら有難いがね』

『オホゝゝ旦那さうしたら奧様がお怒りになるでせうよ』

『馬鹿云へ…………』

『さう、それだつたら差拵へてあげるわ！お嬢？』

『戲談は止して呉れ、藝妓からお客に衣物を拵へてやるミ云ふのは話が逆倒だ、而も初對面のお客にさ！』

『旦那、嘘か眞實か見て居らつしやい！』

忠信の贈物

都野川の愛は妻女から忠信へミ移つて行つた

女の言葉は嘘でなかつた。幾日かの後には三越で購つた銘仙の羽二重が都野川の手許に屆られた。其後都野川ミ忠信は此處此處の料亭で幾度杯を交したことであらう？都野川は殆ミ家に居ることが無くなつた。そして温順しい妻女の側には寄り付かうこともしなかつた。都野川はすつかり女の意氣に感じ女の經歴に感じ女の容色に溺れて了つた。それは女が胃潰瘍を病んで某病院に入院する迄僅か一月の間であつた。女の鑑はしの手が如何に巧であつたか、彼が如何に女に對する溺愛の弱點を持つて居たか！

變心した丸尾ミ忠信（向つて左り忠信右丸尾）

狐火の場面

戀に狂へる都野川ミ傍觀的態度に出でた丸尾

都野川が殆ミ女の病室に付き切りで居るのに丸尾はさほど執拗く付き纒つては居なかつた。太田に至つては更に用心深く遠慮勝に女を訪れて來るのであつた。それには各々理由がある。都野川は所謂『盲目なり』の程度まで女を愛して居るので見得も外聞も構ふことろではなかつた。そして女を飽くまで獨專したかつた。丸尾は昨年の京城神社大祭の時から女とは更に深い相思の間柄ミなり自分は武田勝頼に扮し丸尾ミ一緒に舊劇『狐火』の場面を寫眞に撮つたりした。二人の關係は其後益々密度を加へて居たのである。

年若い婦人

金縁眼鏡をかけた婦人色彩更に加はらんミす

太田に至つては唯厄介者扱ひにされ、南山町の髪結の一間を借り忠信の手で飼はれた犬のやうな境遇に居た。此の戀の戰ひに於て丸尾が何故都野川に一歩を讓つて居たかは場面を追ふて解釋を加へることゝして、或日金縁眼鏡をかけた二十五六歳の婦人が忠信の病室を訪れて來たことを讀者諸君に告げて更に場面の色彩を添ゐやう。

地方で拾圓の品を産地にて五圓で賣外一

物價調節商品現物　注文に限る　賣物は産地へ直接に販賣し、生産地に於て一致し升ご仲間口錢を省き山の利益を除き安價で有利な物を提供し各々に直接に販賣す

注文は男女の別年齢をハガキで申込ば引替にて親切に送ります

縞銘仙　一反五圓五十錢

大島銘仙絣

セル

縮緬兵兒

兵兒帯

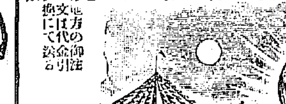
絹大島絣

鹽瀬織裏

桐生織物

時計貴金屬指輪眼鏡商

地方の御注文は代金引換にて送る



京城本町二丁目　三浦天龍堂

大正式製麺機

東京本所長崎町三丁目

秋の風引には

認可有効保證書付調劑

KAZEPIRIN

解熱　完全　風邪

大學病院　模範方劑

本舖　淺野藥天堂藥局

模範牛乳　李王職御用

東亞牧場

ニウソ　石鹸洗粉

鮮滿無二の特約店にて販賣す

淫羊藿エキス

通稱三枝九葉草エキス

人參ご優る滋養強壯劑

主効　神經衰弱、貧血、腎臟、肝臟病、僂麻質斯、胃病、生殖器病、リウマチス、ヒステリー、老衰、精力減退

定價　廿瓦入金壹圓、卅瓦入金壹圓五十錢、四十瓦入金壹圓九十錢、五十瓦入金貳圓三十錢

送料　鮮内二錢、鮮外三十錢

朝鮮京城府大平通一丁目　全國一手販賣　京城日報社代理部

京城特約店　山岸天佑堂

京城特約店　北島支店

原料香水　オリヂナル

日本で一番良い香水は是れです

本舖　東京　安藤井商堂

内科　小兒科　皮梅科　外科一般　婦人病　花柳病

京城黄金町二丁目（長橋通角）

朝鮮診療病院（入院隨意）

陸軍藥劑官勳六等川瀬氏鑑製

ゲンノショウコ越幾斯

胃腸病、下痢止、適應症、慢性下痢、急性下痢、腸胃加答兒、食傷、水傷、冷服、朝鮮赤痢、婦人には子宮病等に内服す

本劑を常に服用すれば胃腸を健全にし赤痢コレラ病等の時期には家庭に缺くべからざる常備藥なり

御注文は現金の規定なるも御希望に依り代金引替をも諾す

一手發賣元　朝鮮京城府若草町　東洋藥房

眼科專門（入院隨意）

京城明治町東拓横

日曜祭日午後二時迄

江頭眼科醫院　江頭富雄

大連燒酎

特約販賣店　仁川　河野本店　京城　河野支店　木浦　阿邊儀商店　同　山口號本店　同　山本酒店　群山　山口號支店　同　長谷川商店　釜山　增永商店　同　山邑支店　鎭南浦　吉富商店

大連市大連燒酎製造所

耐水調帯

新田帯芯

朝鮮總代理店　仁川本町四丁目　白神洋行　京城　白神洋行支店

ハラタ調帯

定價表申込次第送呈

京城龍山等各地に偽物有　御注意

百圓進呈

大阪有田ドラッグ商會

りん病　ばい毒

帝國醫科大學院

にせ物　東京大阪各地ににせドラッグあり

大阪有田

京城南大門外停車場通　有田ドラッグ商會滿鮮本部

京城黄金町三丁目　支店

龍山陳兵場前停留所　支店

釜山大廳町三丁目　支店

元山本町三丁目　支店

平壤櫻町十二番地　支店

仁川宮町二丁目　支店

朝鮮のにせ物

京城龍山仁川等各地ににせドラッグあり間違へられざる樣御注意をこふ

全國到る所の都市朝鮮滿洲南清台灣等に支店あり

龍山練兵場前停留所ドラッグ支店

東京日本橋通四

妻の心（百廿四）

二十一　小林蹴月作　武内桂舟畫

注射と催眠劑の効驗で、禮子は氣分が呼吸も樂になり、脈搏も穩かに復したのであらう、珍らしくも身體を横にして、すや〳〵と眠りに就いたのであるが、代診先生が歸る時の宣言に依ると、今夜の十二時前後が、最も注意時刻であるとの事であつた。それに、普通の患者とは違つて、敏感の極めて鋭い精神病者であるから、物に驚くと云ふ事が、第一番の禁物である。時とすると、その驚きの爲めに、腦髓の痙攣を起して、それなり一溜りもなく閉塞して了ふ事が往々ある例であるとの話であつた。

だから、看護の者ども、總てその心得を以て、枕頭の物を動かすにさへ、注意に注意して、がたんとの音さへ一つ爲せぬやうに靜肅を守りつゝあつたにも拘らず、突如として、櫻井の發つた筝銃の音である。玄關と此處とは、縱し十間を隔て居るにもせよ、それが什うして聞かずに居るべき筈があらう。

寄久子もお俊も、他の女中等も眼を圓くして、ばた〳〵と玄關の方へ駆け出して行つたのはまだしもであつたが、一發……二發……三發目の銃聲が、沈滯しきつた室内の夜の空氣に、時ならぬ波動を與へたと同時に、死人の如く横たはつて居た禮子は、廓然として昏睡の夢から甦へつた。

『あ、苦しい………旦那樣と嬢さんとが、兩方から來て、今妾の身體を眞二つに引裂かうとしてるんだもの。妾の身體は、二ツにでも三ツにでも十にでも、引裂かれたつて關ひや爲ないが………妾の心は、神樣だつて、御母さまだつて、引裂く事は出來や爲ないのにさ。サツ、嬢さん、貴郎なんかの力で、妾の心が引裂けるものなら引裂いて御覽………旦那樣も旦那樣だわね、妾が七年以來盡した赤心の百分の一でも、貴郎の心に分つて下さらないと云ふのは、隨分馬鹿々々しい話と云ふもんだわね。でもね旦那樣、妾は今日が今日まで、夢にもそれを馬鹿々々しいなんて思つてや爲なかつたのよ。何時かは一度、來るべき時節が來たらば、旦那樣の方から、乾度禮子やお前の心が分りました………と、七年前妾の許へお婿さんに入らつした時のやうなお優しい柔かな聲で、妾を慰めて下さる事もあらうと、それはツかしを心待みに爲て居たのよ。それだのに………貴郎はそれだのに………ほ、ほ、ほ、可笑いわねえ貴郎は、今夜の今になつてから、順さんと敵味方になつて、妾の身體を引裂かうなんて、醜搔いたり騷いだりして在ッしやるんだもの。好くてよ妾、妾も貴郎の背像が此の通り滅茶々々に引裂いて了つたんだから、貴郎も澤山……………思ふ存分に妾の身體を』

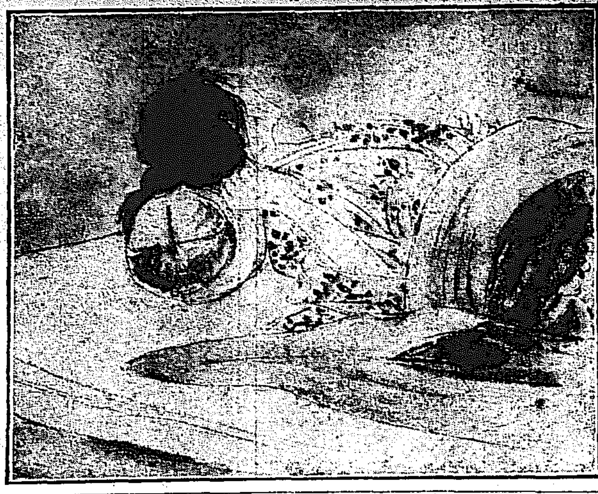
存外言葉の節道が立つて居るかと思へば、何が何やら臆張分らないやうでもあるし、怒つたかと思へば忽ち笑ふと云ふ調子である。禮子は、宛然眼前に良人と櫻井とが來てゞも居るかのやうに落ち凹んだ眼を睜つたり澀いだりして獨り遠魔事を呟いて居るのであつたがそれが所謂燈火の滅する前の明るさであつた。やがてぶる〳〵ツと手先を顫はすかと思ふと、がくりと朽木の折るゝやうな氣色で枕に取縋つた儘前へ倒れた。

『もしツ旦那樣、何かの事はお後に遊ばし、兎も角奧樣にお逢ひ遊ばして下さい』。

俊やに手を引張られながら、櫻井に不意撃ちせられた太腿部の擦過傷を衣服の上から熱と抑へて、久三郎は、覺束なくも漸くにして今、禮子の病床近くへ入つて來たのである。

禮子は、それをさへ知らずに、幽かなる蟲の息を吐くのみであつたが、實はもう逆上と困憊の結果視神經の能力が殆んど休止して居たのである。俊やに扶けられて、辛うじて枕から擡げかけた彼の女の顏を覗くと、生きて居るのか死んで居るのかさへも判りかぬる程の窶れと淋しさと悲哀の極から來た狂ひの面影が、何とも云へぬ淺猿しさであつた。その瞬、兩眼はまだ一杯に釣をかけたやうに睜つて、世に有らん限りの怨みと怒りとに燃えつゝやうな血の色の筋が竪横に匍つて居る。手は、針金の如く乾らび瘦せて、細い〳〵觸つても千切れさうな頸筋には、深い溝のやうな皺が食ひ込み、肋骨は、一枚々々算へ得るまでに肉が削け落ちて了つた。

久三郎は、何とか云つて見やうとは思つたが、何うしても是が自身の女房とは思へないほどの變じ方なので、餘りの氣味わるさに少時語が出なかつたのである。



◎太平洋航打擊

きに非ざる由なるが其後の出貨狀態に從つて邦船の受くる影響は一時的出帆せざる可らざるもの生ず可く況を聞くに上旬出帆のものに對しこは云へ相當大なるものあり感返の地位を占め居れるかを知ると同時に[illegible]

◎出炭量減少
但苦力不足の爲

撫順炭坑に於ては苦力不足の爲め近來出炭額の減少を來たし目下一日六千五百噸の出炭に過ぎずと寒氣は眼前に迫り居る事とて一般需用向は甚だ憂慮しつゝあり（奉天）

■生で食べてはならぬ物
＝寄生蟲が恐ろしい＝

是から追々牛鮭が多く出る頃になりました、そして此の牛鮭のお刺身も決して惡くはありませんが、鮭や鱒は何れも惡性の條蟲が居りますから決して生で食てはなりません、又煮たり燒いたりしても決して牛煮を食ぬやうに注意しなければなりません是と同じく若い人々の中にはビフテキを食る時、ビフテキは是非血が滲れるやうなのでなければならぬと大層元氣がる連もありますが、是も安全な途ではない、殊に豚には極惡性の寄生蟲が居るものですから豚は忘れても牛煮を食ぬやうに注意する事が肝要であります、又豚を食る時はなるべく生姜を一緒に食ると共毒を消すと云はれて居ります

読者の領分

■香華に添へて目池兒に　平壤にて　芳宙

■アナタからの電報は丑の刻頃電話によつて私の出張先きへ傳へられました、演話器の前に迎つて居る妻の、感情の激昂した聲は、受話器を透ふして私の鼓膜になゝきました。奧さまの靈の終りの旅近ちかすら御送り申上げることも出來ず遥而さいふのは殆んど徹夜で用務を果して歸つて來ますと、機の音になれと知つて迎いて呉れた妻の顏には、露のやうな淋しい影の流れて居るのも悲しい御座いましたが『御病氣の事を承知しながら親しく御見舞ひすることも出來ず又御不幸の電報を戴いても樂破と言つて御伺ひする事の出來ない境涯に居る』ことを悲しみ『亡き奧さまの御靈に對して濟まないことをしました、私は千萬年生き存へようとも、此の事は永へに命腦に銘つて忘られぬであらふ』と言つて妻は頻りに咳くのです●

■奧さまから最後に、戴きました九月九日付の御手紙には、逝去した後日かの御宅の皆さまを中心とした出來事が断片的にやさしく認められてあり、又友愛しさの情が隨所に溢れて居ります今是れによつて靜かに考へて見ますと共時の奧さまの思想は、心の扉を訪ふ森の微風のやうであつたらふと思はれます、從つて奧さまは夕凪ぎのやうな平和な感情と、未來の幸福を御胸に一ぱい充して逝かれたことでありませうから、志された未來から未來への遙き一路は、最も安穩に晝も夜も彌陀の御燈明によつて輝いて居ることゝ信じます

■和樂園の通りの雁の上下に降りして往つて居た頃からコチラの事を追憶すれば、申し度い事は胸一ぱいですが、今更ら何も申さますまい、茲には御佛のみ申上げて筆を擱きます。どうかカラダを御大事に……旅から戻つて

○　芳宙
暮れし家ぬち歌ふ兒もある幸なり

○　かよ子
かたみの品々取り出し今日も淋しく暮す

みや子樣に　同
御庭の檜の夕風に衣重ねたまへな

▲某地方天理教説教所では先般或る信者の一兒が重病の爲め入院し既に醫者も見放して居るのに『此際五十圓を寄附したら直ぐ癒る』といふて祈りを上げて貰つたら終に其兒は死んだそうですそれを信じて金を出す迷ひ家も困つたものだが出させた方も刑罰以上の責任を免れまい（神の子）▲我北漢の位遊者と酒には剛傑なるもイザ鍾君となるさ側れなものである白く澁りたる碧剛山奧の藏物相探勝部はトテモであるでへコタレる樣では集津の名勝たる金剛山奧の渓谷や碧潭の浣紗恐ろべし（北漢出身）▲共寄碑梁聰貫金盃與湯呑碑の俵迎れ如き御請封入致しても差支へ之無之哉此段恐縮に御座候へ共御紙朝刊諸者御分迄日にまで御知らせ願上候（投稿者）▲抽籤封入でも宜敷御座りますか▲今度の大懸賞募集には用紙に制定がない樣ですが何でも關ひませんかお尋ね致します（分らぬ生）▲用紙は別に規定してありませぬ（係）

新刊紹介（到着順）

▲人格と幸福（六の一〇）人格を向上せしめて生活を幸福ならしむるため卑近なる實例を引て精神修養に資せる有益なる雜誌なり（九錢京都紙園萬壽小路高谷明治修養會）
▲青年界（十月號）十三錢東京神田三崎町三の一青年社
▲新國民（十月號）十五錢東京神田駿河臺袋町十六國民中學會
▲民衆の藝術（十月號）二十錢東京日本橋小傳馬町九枠正民社
▲教育時論（十月五號）十二錢東京神田町四開發社

各種菓子目録
御菓子卸商
衛生ボーロ、不老草菓子
ウバ及星、キウリ
茶菓、豆煎餅
京城義州通一丁目六四
永興製菓所
主任 金鎭秀

京城本町
千代田號印舖
電話九八七番

面白い程きく
かぜねつ
カギヤ、エリン
彼是と手遲れの樣直ぐ用ひよ
本舖 名古屋 荒川長太郎

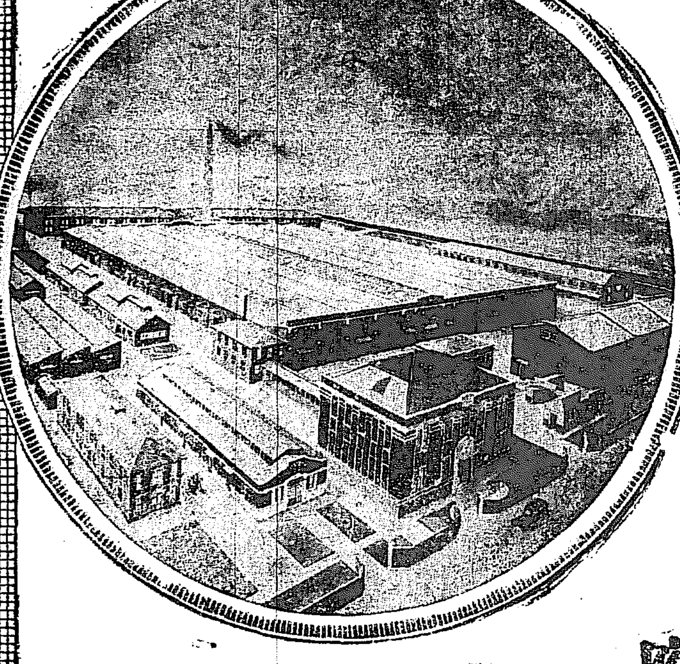
內科
胃腸病
診察夜九時迄
石川醫院
電話 一二二七 三九〇九番

純良の藥品と賣藥お揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから御値がお安いです
京城本町二丁目角
古城賛化堂
電話一〇二番 振替七三七番

優等清酒
一鶴
發賣元
永樂町二丁目
本莊酒店
電話五六四番 振替京城六〇二番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千參百參拾萬圓
總預金 貳億七千萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目 振替貯金京城一〇一一番 電話二二一一六一七番
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎

美人とあふる近道は
クラブ白粉



新築のクラブ白粉本店及び第一工場

應用の淑女式お化粧法

日本の御婦人に一番適した標準的お化粧法として、全國の貴夫人令孃間に第一の高評を博して居りますのは、クラブ白粉本店が多年推奬して參りました彼の上品で美しい淑女式お化粧法で、其の方法は

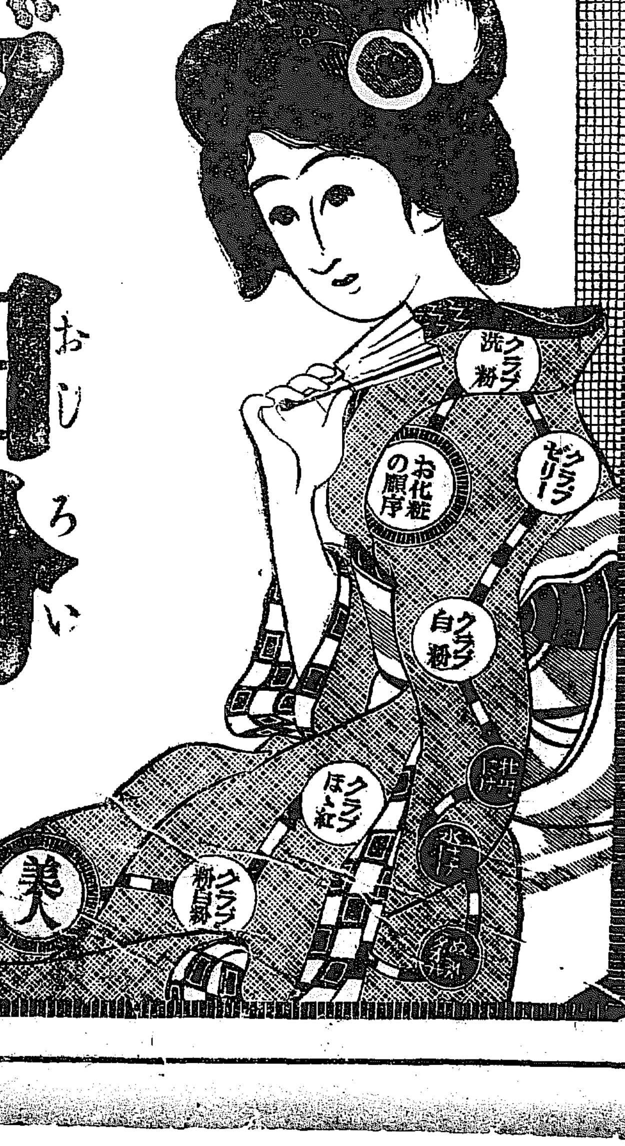
第一に 生地の美を增す日本名物の **クラブ洗粉** で顏から襟首をよく洗ひますと、スベ〳〵と天鵞絨のやうな手觸りになりますから、其の上へ、

第二に 皮膚の美を養ふ **クラブ美身ゼリー** を塗つて生地を調へ、（若し荒れ性の方ならば、一番よくきくアレ日燒止め兼用の美身劑 **クラブ美身クリーム** を代りに用ひ、指先でよく擦込んでから、蒸タオルで輕く拭取る。）

第三に 一番高尚で美しい艶の出る **クラブ白粉** を掌に取り、指先でよく煉つて付け、（襟は顏より少し濃くする）、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で白粉を均らし、濡タオルで上からソツと押へて白粉を落付かせ、

第四に お顏にホンノリと櫻色の健康色を出す **クラブ頰紅** を目の下から頰へかけて薄く刷付けますと、花のやうな艶麗な色澤が出ますから、夫れを一層上品に落付かす爲め、

第五に **クラブ粉白粉** をセーム革につけて顏に薄く打ち、（襟はポットに粉白粉を含ませて刷いた上を、セーム革で輕く打ちますと、高尚で美しい淑女式のお化粧が忽ちの間に出來上るのでございます。



大阪株式　十八日前場　[illegible]

大阪期米　十六日前場　[illegible]

仁川期米　十八日後場　[illegible]

仁川米豆取引　十八日の十一月限　[illegible]

課題及募集規定　[illegible]